



# ホテル旅館の SDGs ガイドブック

情報発信とパートナーシップ編

旅館ホテル持続可能な経営推進事業  
ワーキンググループ



# 本編目次

【はじめに】	1
【第1部 情報発信について】	2
1. SDGsへの取組みの認識と課題	2
2. SDGsへの取組みの情報発信の状況(アンケート結果)	2
3. 情報発信の必要性と課題	3
4. 情報発信方法の提案	4
【第2部 地域連携について】	7
1. SDGs目標17「パートナーシップ」について	7
2. 地域連携の必要性	8
3. 観光資源の保全継承と活用に関する地域連携	9
4. 地域産業との連携(地域の産物や事業者の活用による地域活性化)	13
5. 都市部における周辺環境づくり	15
6. 住民の理解と参加(社会的活動への参加)	16
【第3部 お客様との連携でSDGsに取り組む】	18
(1) 時代を担う青少年を対象としたSDGs学習宿泊プラン	18
(2) お客様を対象としたSDGs宿泊プラン	18
(3) お客様がホテル旅館のSDGs推進の対象者となる	18
【あしがき】	19

# 参考資料集目次

参考資料1 宿泊業の業務・取組みが貢献するSDGs目標の一覧	1
参考資料2 県内における地域連携(パートナーシップ)の具体例	6
参考資料3 DMOによる持続可能な観光の実現に向けた先進事例	8
参考資料4 ホテル旅館のSDGs宿泊プランについて	12
参考資料5 アンケート結果について	18
参考資料6 「旅館ホテル持続可能な経営推進事業」調査検討ワーキング	28

# はじめに

## SDGsへの意識の高まり

深刻な環境問題、気候変動、国際的な人権問題や貧困、開発途上国へのアンフェアな貿易など地球規模の課題解決を個々の運動として展開する「SDGs17目標」は、2015年に国連で採択されて以来、学校教育の中で取り上げられているほか、企業の社会貢献のPRとして日常的にCMやマスコミでも目にする機会が増えています。

コロナ禍での足踏みはあったものの、目標年の2030年へ向けて、環境問題を中心に、消費者のSDGsに対する意識が急速に高まり拡大しており、商品やサービスを選択する際には、「自らの行動がSDGsに少しでも貢献できる」ことを望むお客様が、これまで以上に増加し、ホテル旅館の対応が迫られることが想定されています。

## SDGsの情報発信の支援とパートナーシップによる持続的な取組みを紹介する

昨年、組合員を対象に実態調査を実施したところ、全体の約22%に当たる141のホテル旅館から回答があり、そのうち「SDGsの何らかの取組みを実施している」との回答が約6割ありました。

その一方で、回答のあった141のホテル旅館について、ホームページを閲覧したところ、ホームページ上で情報発信していたのは、約1割にとどまっていました。

ホテル旅館の業務には、SDGsを推進しているものが数多くあるにもかかわらず、取組んでいることがお客様に伝わらない場合には、「やっていない」と認識され、お客様から選ばれなくなる懸念があります。

そこで、今年は、組合員ホテル旅館のSDGsへの取組みの情報発信の状況を把握するとともに、取組みの情報がお客様に届くよう情報発信するための課題を把握し、組合員の情報発信を支援する方法を検討することとしました。

また、SDGsの目標達成をより確実・強固なものとする持続的な取組みのためには、ホテル旅館が単体で取組む方法よりも、他の事業者をはじめ、様々な団体や市民、行政などと連携して取組むことがきわめて有効であることから、個々のホテル旅館が、パートナーシップによって、環境の課題をはじめ、観光資源の保全と利用、地域の繁栄などの課題に取組む具体的な事例や方法について取り上げることにしました。

# 第1部 情報発信について

## 1. SDGsへの取組みの認識と課題

ホテル旅館の業務は、参考資料1「宿泊業の業務が貢献するSDGs目標の一覧」（参考資料集P1）にあるように、幅広い様々な業務がSDGsの推進に貢献しています。

昨年の調査で「何らかSDGsに取り組んでいる」との回答のなかった約4割のホテル旅館についても、宿泊業であれば、次のように必然的に取り組んでいる事例はたくさんあると思われます。

### 【地元食材】

- その地域で収穫された海や山の幸をお客様に料理提供しており、“フードマイレージ<sup>(注)</sup>”の視点から、移動距離が短く環境面でSDGsに貢献している。

(注:生産地から消費地までの運搬に必要なエネルギーを【食品重量×移動距離】で表したもの)

### 【省資源・省エネルギー】

- 宿泊業であれば、備えている機械器具や電気製品については、省エネ家電や節水機器を使用しており、環境配慮の側面でSDGsに貢献している。

### 【地域の持続的繁栄】

- 客室の掃除やリネン類を地域の清掃業やクリーニング業者に発注しているほか、朝食付きが標準のビジネスホテルでは、お客様の夕食の便宜をはかるため、近隣の食事場所や居酒屋などの地域のグルメをお知らせすることで、地域の繁栄を目指すSDGsに貢献している。

このように宿泊業としての当たり前の業務の中で、SDGsに取り組んでいることを認識していない組合員がまだまだいることから、宿泊業の幅広い業務がSDGsに貢献していることを改めて周知する必要があります。

## 2. SDGsへの取組みの情報発信の状況(アンケート結果)

今回、SDGs取組みの情報発信について調査したところ、次のような状況でした。

### 【情報発信しているとの回答】

- アンケート回答者のうち、何らかの方法で情報の発信をしているとの回答は、1/3を超える73件(35.6%)でした。
- そのうち、現場での貼紙や注意喚起による情報発信が50件、約6割強あり、HPから情報発信をしているのは、約半分の39件で、回答者205件の2割に満たない(19.0%)状況でした。

### 【情報発信していないとの回答】

- 一方、情報発信していないとの回答者が、132件と全体の約2/3あり、「情報発信しても、しなくても変わらない」との回答がその約半数の63件でした。

- 今後、持続的なホテル旅館経営を進める上では、SDGsに貢献する業務を実施していることについて、情報発信する必要がありますが、その必要性についての認識が低い状況です。
- また、発信方法が分からないという回答も40件で、回答者総数の約2割あったことから、簡素な情報発信方法について提案するなどの支援が必要です。

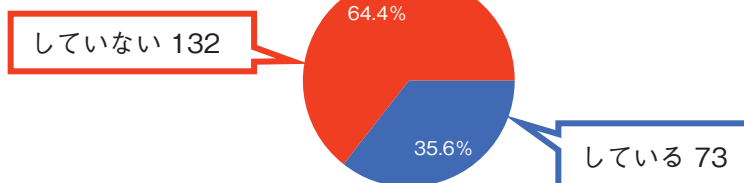
### 〈令和6年度アンケート結果(抜粋)〉

(詳細は、参考資料5「アンケート結果」(参考資料集P18)を参照)

- 回答総数(646施設中)：205件(31.7%)

**情報発信の状況について** 205件の回答中

- 取組みを情報発信している  
73件(35.6%)
- 情報発信はしていない  
132件(64.4%)



#### ①情報発信しているホテル旅館とその方法(重複回答可 実回答数81件)

- 「現場の貼紙・注意喚起」 50件(61.7%)
- H P での情報発信(SNS含む) 39件(48.1% 全体の19.0%)
- 独自にポスターを作成している 9件(11.1%)
- SDGsガイドブックの様式で発信 3件(3.7%)
- 必要アメニティを持参させる方式で発信 3件(3.7%)
- グループ企業全体での情報発信 2件(2.5%)

#### ②情報発信していないホテル旅館とその理由(重複回答可実回答数131件)

- 情報発信してもしなくても変わらない 63件(48.1% 全体の30.7%)
- 情報発信の仕方が分からない 40件(30.5%)
- SDGsの取組みが進んでいない又は無い 8件(6.1%)
- 準備中・検討中・対応が遅れている 7件(5.3%)
- SDGsの内容や取組んでいるか分からない 3件(2.3%)
- 本社一括で情報発信しているので 3件(2.3%)
- 時間やマンパワーが無い 2件(1.5%)

## 3. 情報発信の必要性と課題

### (1) SDGsへの取組み状況によりサービスを選択する傾向

- SDGsに対する消費者の意識の高まりにより、宿泊するホテル旅館を選ぶ際にも、基本的な条件にSDGsへの取組みの有無が次第に大きなウエイトを占めてきています。
- インターネットの宿泊予約サイトでは、ホテル旅館の「SDGsへの取組み状況」を「取組み初め」から「かなり費用と時間をかけて取り組んでいる」までの3ランクでの表示を2021年秋から始めたところがあります。SDGsへの取組状況で、ホテル旅館を3段階に分類するこのような方法が宿泊予約サイトで始まったことは、消費者の意識の中で、「自らの行動がSDGsに少しでも貢献できる」こと望むお客様が急速に増加していることを裏付けるものであり、ホテル旅館がSDGsの取組みを情報発信する対応が迫られています。



## (2) ホテル旅館におけるSDGs情報発信の意識改革の必要性

- このように、SDGsへの取組がサービスを選択する際の決め手となりつつある状況にもかかわらず、アンケートでは、「情報発信していないホテル旅館」では、「掲載してもしなくても、効果において差異が無い」との回答が約半数を占めています。また、「情報発信の仕方が分からない」との回答も、3割を占めています。
- このような意識を改め、ホテル旅館の業務についてSDGsの視点から再考し、ホームページ上にSDGsに取組んでいる情報を掲載することが必要です。

## (3) ホームページ上への情報掲載の必要性と課題

- 宿泊するホテル旅館を選択し決定する際に、お客様の大きな判断材料となるのは、簡単に得られる情報であり、現在では、ホテル旅館のホームページやOTAの予約サイトにより、お客様は、ホテル旅館の施設や宿泊プランの内容とともにSDGsへの取組み状況を知ることになります。
- アンケート結果では、ホームページ上で情報発信できているのは回答総数の約2割にとどまっていますので、お客様にSDGsへの取組みが伝わるよう、個々のホテル旅館のホームページに、SDGsの取組み状況を掲載する必要があります。
- 一方、アンケートにも、「ホームページ掲載は難しい、また費用がかかる。」や「情報発信の作業に必要なマンパワーが無い。」との回答があるように、ホームページに掲載する場合には、経費と手間が掛かります。
- 個々のホテル旅館がホームページを改修してSDGsへの取組み状況を掲載し、その進捗状況を定期的に更新することは、経費も掛かり、数多くの組合員が取組みを期待するのは、ハードルが高いと思われます。
- このため、経費が掛からないで、かつ、手間がかからない方法により、SDGsに取り組んでいることの情報発信をする方法について検討する必要があります。

## 4. 情報発信方法の提案

“SDGsウォッシュ”と言われたいよう、やっていることを情報発信するため、ホテル旅館であれば、当たり前に行っていて、SDGsに貢献している業務内容について情報発信する必要がありますので、以下の手順での情報発信について提案します。

### (1) ホテル旅館の業務でSDGsの推進に役立つものを理解していただく

- ホテル旅館のどのような業務がSDGsの推進に該当するのかについて、明確に認識し、意識的に情報発信をする必要がありますので、昨年ホテル旅館のSDGsガイドブックに掲載した「参考資料1：宿泊業の業務が貢献するSDGs目標の一覧」を再度、組合員の皆様に周知・徹底する必要があります。
- ホテル旅館のどこでも必ずやっている本来業務の中でSDGsの推進に役立つ業務が数多く存在することを正しく認識することにより、SDGsの情報発信が期待できます。

## (2) やっていることを個々のホームページで情報発信する

- 「参考資料1：宿泊業の業務が貢献するSDGs目標の一覧」を参考にいただき、個々の宿泊施設において、数値目標を設定している業務や、経費を掛けている業務など特に力を入れている業務について、個々のホームページ上に情報発信することが好ましいと思われまます。
- 但し、これには、経費や手間がかかり、対応するまでに一定の期間が掛ると思われまますので、当面の対応について検討する必要があります。

## (3) 費用と手間がかからない方法を提案する

- 個々のホテル旅館がホームページへ掲載する方法は、費用と手間などの負担と時間がかかりますので、県組合のホームページに「SDGs推進ページ」を作成し、組合員のホームページには、県HPへリンクするバナーを掲載しSDGs推進運動へ参加する方法を提案します。

## (4) 県組合ホームページとの連携によるSDGsの情報発信について

### 〈県組合のHPの構成(案)〉

#### ①ホテル旅館の本来業務には、SDGsに貢献する数多くの取組がある

ホテル旅館の本来業務には、SDGsに貢献する数多くの取組みがあることを例示的に述べ、併せて、「参考資料1：宿泊業の業務が貢献するSDGs目標の一覧」を添付して参照できるようにします。

### 〈取組の具体例〉

- 地元食材や地域の産物でのおもてなし
- “省資源・省エネルギー”に効果的な設備・機器の使用
- バイキング方式における小皿盛りでの料理の提供
- 地域のグルメ情報の提供
- 客室清掃やリネンのクリーニングなどのホテル旅館関連業務を地域業者に任せ、地域から食材などを調達する。
- 地域の行事やイベントへの人的・経済的な支援
- 災害時の避難者の受入などへの協力

#### ②組合員のホテル旅館での情報発信の提案

組合員のホテル旅館のホームページに「県組合と連携してSDGsに取り組んでいます」と記載したバナーを貼り付ける方法により、情報発信することを提案します。

## 【県組合のホームページでの情報発信の例(案)】

ホテル旅館には、次の例のようにSDGsに貢献する数多くの業務があります。

静岡県ホテル旅館組合では、SDGs推進に賛同する組合員のホテル旅館とともに、SDGsの目標達成に貢献できるよう運動を進めて参りますので、皆様のご理解、ご支援をお願いします。

### SDGs推進に役立つホテル旅館の業務の例

※“地元食材や地域の産物でおもてなしをする”ことは、“フードマイレージ<sup>(注1)</sup>”を考慮することなので、SDGsに貢献しています。(注1：生産地から消費地までの運搬に必要なエネルギーを【食品重量×移動距離】で表したもの) また、日本が2050年を目標として進めている“カーボンニュートラル<sup>(注2)</sup>”の有力な達成手段の一つであると言われていま

す。  
(注2：温室効果ガスの「排出量」を削減するとともに森林などによる「吸収量」を差し引くことで、温室効果ガスを実質的にゼロにする取り組み)

※ホテル旅館で稼働する大きな設備機器は、“省資源・省エネルギー”に効果的な機器が使われており、環境負荷の視点からSDGs推進に役立っています。

※コロナ禍で定着した、バイキング方式における小皿盛りでの料理の提供は、フードロス削減の視点から、SDGs推進に役立っています。

※夕食が無いビジネスホテルにあっては、地域のグルメ情報等をお客様に提供することで、地域の持続的な繁栄に役立っています。

※ホテル旅館は地域の雇用の場であり、シーツなどのリネンの洗濯、客室の清掃、食材や酒類・飲料の仕入れなど裾野の広い地域の事業者や産業との連携を通じて、地域の持続的な繁栄に貢献しています。

※ホテル旅館は地域で行われる花火大会などのイベントや祭事・行事などへ、人的・経済的な援助をしており、地域の持続的な繁栄に役立っています。

※災害時には、行政からの要請により、避難者の受入に協力することにより、住み続けられるまちづくりに役立っています。

他にも数多くの業務がSDGs推進に該当しています。詳しくは、「**宿泊業の業務が貢献するSDGs目標の一覧**」をご覧ください。

### 組合員のホテル旅館での情報発信の提案

組合員のホテル旅館のホームページに「県組合と連携してSDGsに取り組んでいます」との内容を記載したバナーを貼り付ける方法により、情報発信することを提案します。

#### 【バナー例①】

当ホテル(旅館)は、静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合と共にSDGsの推進に取り組んでいます。

#### 【バナー例②】

ホテル旅館には、SDGsに貢献する業務が数多くあり、当施設は、静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合と共にSDGsの推進に取り組んでいます。



## 第2部 地域連携について

### 1. SDGs目標17「パートナーシップ」について

- SDGs目標17「パートナーシップ」の具体的な内容については、ターゲットには、国際的な課題の解決に関連した内容が数多く示されていますが、「目標17 パートナーシップで目標を達成しよう」（国際開発センター2018）の中では、「SDGsの目標は17あるが、具体的な問題のゴールは1から16に掲げ、17番目の目標には、16までの目標を達成するための実施手段の強化とパートナーシップの活性化に向け『パートナーシップで目標を達成しよう』という内容を定めている。」と記述されています。
- 目標達成のためには、様々なレベルや形式のパートナーシップが重要な役割を示します。このため、本編では、「目的達成のための手段としてのパートナーシップ」という視点に立って、より具体的に、“地域との連携”と“お客様との連携”という2つの観点から、具体的な内容について記述することとします。

## 2. 地域連携の必要性

ホテル・旅館の宿泊業は、地域と共存共栄の関係にあり、業界の繁栄には地域の持続可能な発展が不可欠ですので、次の視点から地域との密接な連携が必要です。

### (1) 自然環境をはじめとする観光資源の保全継承と活用の視点

観光にとって、地域の海・山、景観、動植物などの自然資源や歴史的遺産、伝統的な祭りや芸能などの文化的資源が、重要な観光資源であり、その保全継承が観光には必要不可欠です。

また、緑に囲まれたお宿や海が見える宿などホテル旅館の周辺の自然環境は、その施設の存在価値を高め、利用するお客様に癒しを提供しますので、自然環境という観光資源の存在なくしてはホテル旅館の存在意義が薄れることとなります。

### (2) 地域産業との連携の視点

観光は、地域の農林水産業や飲食業、さらには調度品や土産品などの製造業、客室の清掃業やリネン類のクリーニング業などのサービス産業と密接に関係した裾野の広い産業で、それらの産業や事業者との連携が不可欠です。

### (3) 都市部における周辺環境づくりの視点

都市部の宿泊施設は、地域の経済状況、街の環境、交通基盤、治安などによって、施設の使用しやすさが極端に変わることがあるなど、大きな影響を受けます。

このため、ホテル旅館が、周辺の企業や団体、住民と連携して、良好な環境づくりを進めることが必要です。

### (4) 地域住民の理解と参加の視点

観光振興、交通基盤整備、環境保全、治安の確保などの地域政策は、企業や行政だけでなく、地域住民の理解と参加が不可欠です。

また、日常的な環境美化や花壇の整備など持続的な清潔さと華やかさがあることで、人が訪れやすい地域となることが期待できます。

このため、地域住民と連携した持続的な取組みが必要です。

このようにSDGsへの取組みは、個々の企業のみならず地域の団体や住民等と連携し地域全体で持続的に取組む必要があります。

### 3. 観光資源の保全継承と活用に関する地域連携

#### (1) 観光資源の内容

観光資源には、その地域にある自然環境や自然現象をはじめ、人工的な事物や建築物など全てのものが該当し、常時、その観光資源の恩恵やサービスを受けることができるものや、一時的な催し物として開催されるもの、お客様が要請した都度、展示や提供をするものがあります。

また、観光資源には、観ることや聴くことで楽しむほか、触れて楽しむもの、味わって楽しむもの、作業や製造・制作を体験するもの、行事や運動へ参加するものなど、実に多種多様なかかわり方があります。

#### 〈地域にある自然現象や風景〉

##### ①景観・空・雲などの自然現象

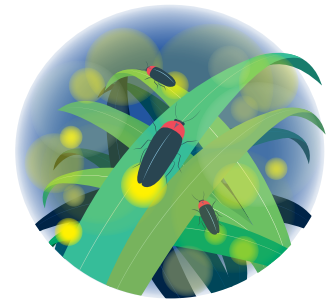
- 海・山・森・滝・空、その地域特有の地形
- 朝日や夕日、月、雲の形、降雪、流水などの自然現象
- 波や風、せせらぎの音など

##### ②その地域に生息する動植物や昆虫

- 季節の花の群生や四季折々に姿・形・色を変える樹木、大樹など
- 鳥や動物の存在や鳴き声など
- ホタルや蝶、トンボ、カブト虫などの昆虫

##### ③人の営みに関連した景色

- 農林水産業の風景（棚田、田園、森林、漁業風景、収穫風景）
- 植栽、花壇、庭園、特徴ある家屋



#### 〈地域の産業や文化に関連した事物〉

##### ④地域の食文化を楽しむ（農林水産資源など海や山の幸）

- 既存の飲食店など
- 飲食をテーマにしたイベントや祭事(地酒・地ビール、おでん、B級グルメ、芋煮、水産物祭、農産物祭)
- 収穫体験（芋ほり、地引網、イチゴ、ミカン）

##### ⑤産物、名産品、工芸品を見て楽しむ

- 水産物、農産物、畜産物、ジビエ
- 伝統農法の茶畑、棚田、ワサビ田
- 伝統工芸品（木工品、織物、美術工芸など）
- 名工の技

##### ⑥歴史文化資産（古民家を含む）

- 地域の歴史文化に関連のある史跡、名勝、郷土資料館、家屋、場所
- 古民家（茅葺き、大黒柱、養蚕用家屋）

### ⑦伝統芸能の鑑賞(神楽、能、季節の寺社行事)

- 薪能、奉納神楽、稚児行列、伝統行事展示館、祭会館

### ⑧博物館、美術館、動植物園などの施設

- 美術品、芸術品、工芸品、テーマ館、動植物、遺跡資料

## 〈地域での行事やイベント〉

### ⑨地域の住民が参加する伝統的な地域の行事(収穫祭、寺社の祭)

- 収穫秋祭り、田植え祭、茶収穫祭り
- 花祭り

### ⑩様々なテーマのイベントの開催

- スポーツイベント（参加と観戦）
- 港まつり、施設オープン記念祭、現代風の祭
- 花火大会
- コンサート、観劇、芸人・唄家などタレントを招いたショーや演芸会、大道芸大会など主に鑑賞するイベント
- 大会、写生大会、プラモデル製作大会など作品で参加するイベント
- 体験型イベント（ウォーキング、防災体験、健康福祉祭りなど）

## (2) 地域の観光資源を活用するための情報発信での連携

観光資源を継続的に活用するために、観光資源の情報が、お客様に届く必要があります。このためには、観光資源のある地域でその情報を様々な方法でより多くのお客様に発信する必要があります。

### ①地域の歴史文化資産や風光明媚なスポット、名勝などの存在を知らせ、地域の祭典や観光・スポーツ・文化イベントの開催を伝える。

- ポスターを掲示してお客様にお知らせする。
- ガイドブックやパンフレット、割引入園券、イベントへの参加申込書を配架・設置し、お客様に知らせる。
- コンシェルジュがお客様に案内する。
- ホテル旅館のロビーやフロントに関連のディスプレイを表示する。
- 施設などの混雑状況をリアルタイムで表示する。

### ②伝統芸能や地域の伝統行事、風習、年中行事などをお客様に披露する

- 地域の太鼓や踊り、祭などの伝統芸能をお客様の要請に応じて披露。
- 正月飾りや雛飾りなど、地域特有の季節飾りをロビーや客室に飾る。
- 祭事で使用する衣装や使用後の手筒花火などの道具類を展示する。
- 特徴的な食文化や風習・しきたりなどの地域文化や、伝説・言い伝え、地名の由来などを絵や写真、解説文で紹介・説明する。
- 語り部が地域の方言で地域の伝承話をお客様に話す。

### (3) 地域の観光資源の維持・保存のための連携

観光資源を継続的に活用するために、放置すれば自然劣化や、人為的な荒廃が進む資源を、手間や費用を掛けて維持・保全する必要がある、このための人的・経費的負担が、少数の人や事業者に集中するのを避けるため、地域で連携して担う必要があります。

※なお、大規模災害による観光資源の滅失・損壊があった場合には、既存の仕組みの中での原状回復が困難な場合がありますので、「行政との地域連携」により、いざという時に対応できる仕組みを予め構築しておくことが望まれます。

#### ①観光資源の維持・保全の活動…活動への参加もしくは資金を援助

- 名勝の景観を保全するため、枯れ枝や雑草などを撤去する活動やプラごみ、投棄金属の回収などの定期的な清掃に参加する。
- 花壇や植栽の手入れに参加する。
- 動植物の生育環境を良好に保つため、定期的に生息環境を整備する清掃活動に参加する。もしくは、実施団体へ資金援助する。
- 既存のイベントや地域行事が存続・発展するよう、その運営に加わる。また、運営に必要な資金を支援する。
- 環境資源保護の視点から、歩行や立入り制限区域を明示する。また、同時に施設や遊歩道を利用できる定員を限定する。

#### ②歴史文化的資源の保存活動に参加する・資金援助する

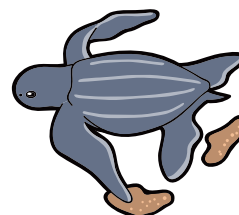
- 地域の歴史・文化資源の保存・継承活動に貢献すること。
- 寺社の伝統の祭りや踊り、神楽などの保存に直接関与するか、保存活動をしている団体へ支援する。
- 戦国大名など歴史的人物の遺品などの地域の歴史遺産の展示や庶民の暮らしぶりを紹介した郷土資料保存・継承活動に貢献する。
- 他団体主催の地域文化行事や保存活動への参加や資金を支援する。
- 歴史的な街並みや家並みの保存活動への参加や資金を支援する。

#### ③伝統芸能の後継者の育成に参加するもしくは資金援助する

- 技術・技能を引き継ぐ後継者の育成を支援する。(人的・金銭的援助)
- 技術レベルの維持向上を目指した大会の開催を支援する。

#### ④動植物や昆虫などの自然環境・生育環境の保護整備

- 蛍やトンボの幼虫の飼育（ホタルの幼虫の飼育や生息域を良好に保つための河川の清掃活動への参加
- アサギマダラ(蝶)の飛来を受入れる環境の整備
- モリアオガエルの産卵環境・池の整備
- 中田島砂丘で孵化した子亀の放流活動
- カブト虫の飼育

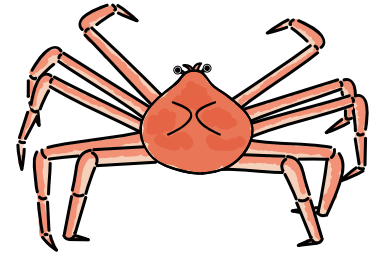




#### ⑤魚などの水産資源の保護活動

ガストロツーノミーリズムが話題になりつつあるが、自然の恵みを享受するだけでなく資源の保全活動への参加

- あゆや魚の稚魚の飼育・放流、タカアシガニの育成と放流
- アサリなど稚貝の飼育・放流
- 定期的な海岸清掃（クラゲと間違え魚類や亀が飲み込むことがないようにプラスチックごみの回収）



#### ⑥ガイド役の育成(オーバーツーリズム対策)

- 観光に訪れる観光客が通路以外の場所に立ち入ることがないように、また、貴重な動植物を持ち帰らないよう案内するため、観光ガイド活動の実施や観光客の意識啓発活動を行う。
- また、その活動を担うガイドを養成する。もしくは、養成事業へ参加、支援する。

### (4) 新たな観光資源の創設・発掘のための地域連携

既存の観光資源に加え、これまでになかった観光資源や資源との接し方を提案する場合には、持続的な観光の側面から、上述と同様な地域との連携が必要となります。

#### ①地域を巡る新たなツアーを提案

- これまで、紹介されて来なかった、海、山、空、星・月、風景などをお薦めし、併せて、環境保護の行動理念への共感を呼び掛ける。
- 時間や天候など条件を限って薦める。(例：年2回、春分と秋分にその場所に立って眺める風景などを写真や動画で紹介する。)
- 環境に負荷を掛けないよう、該当する観光資源を一度に見学できる人数を守るよう呼び掛ける。
- 環境に優しい徒歩や自転車や電気自動車での周遊方法を提案する。

#### ②地域を活性化する行事の開催・開始

- 地域の産物を活用したグルメフェアや農産物の収穫祭、食をテーマにしたコンテストやグルメと健康保持と環境美化への貢献が同時に実現出来るイベントなど、これまでになかった行事やイベントなど、地域を活性化する行事を開始する。
- 既存イベントへの次世代の若者や新たな分野のメンバーなどの参加を実現する。



## 4. 地域産業との連携（地域の産物や事業者の活用による地域活性化）

持続的な地域の発展を図るためには、単独の事業者だけではなく、地域経済全体の活性化が必要です。

ホテル旅館業は、地域の農林水産業の産物を活用するのをはじめ、地域の労働力や観光業のほか地域の幅広い事業者と互いに支えあいながら地域の持続的な繁栄と活性化の中心的な担い手の役割を果たしています。

### （1）地域の食材の活用

ホテル旅館では、地元から調達した食材の料理でお客様をもてなすことにより、地域経済の持続的な発展を支援しています。地域からの食材などの調達は、“フードマイレージ”の観点からもSDGsの推進に役立っています。

- 食材等を地域から調達する。（地元の魚屋、水産会社、漁協やJAの直売所、地域のスーパー、地元の農家や地元の酒店から直接仕入れている。）
- 地元の精肉店から食材を仕入れる。
- 鹿肉や猪肉などのジビエ料理を提供するホテル旅館もある。
- 地元の酒店から酒類を仕入れている。
- 近隣の酒造所やワイナリー製造の地酒や地ワインを提供している。

### （2）ホテル旅館の調度品などに地域の工芸品を活用

ホテル旅館では、地域にある様々な工芸品を調度品として活用することで、持続的な地域の繁栄に貢献しています。

- 地域の織物で造った染色加工品、ポーチや置物、テーブルクロスやタペストリー、茶碗・湯のみなどに地域の伝統工芸品を客室やロビーで使用してお客様にアピールしている。
- 調度品や装飾品に、地域の工芸品や芸術家の作品を展示している。
- 食事で使用する食器に、地域の陶器や漆器を使用している。

### （3）地域の事業者を活用する。

ホテル旅館の日常的な業務や発生する維持修繕などの様々な業務を、地域の事業者を活用して実施することで、持続的な地域の繁栄に貢献しています。

#### ① 宿泊施設の日常的な業務を委託し実施する。

- ホテル旅館の清掃、警備、クリーニング等の日常的な関連業務について地元業者をできるだけ活用している。
- 人材派遣会社から繁忙時に短期的に働く人材派遣を受けている。
- お客様の足としての公共交通機関の利用や地元タクシーの活用を積極的に行っている。

## ②臨時的に発生する様々な業務を地元の業者に発注する。

- 客室の建具や備品の修繕や改修に地元の業者を活用する。
- 客室やロビーの調度品や電気製品や器具は、地元業者から購入する。
- 消耗備品の補充を地域の店舗から調達する。
- 防災関係設備の定期的な点検や薬液の交換・補充に地元業者を活用する。

## (4) 地域の飲食店や地元グルメの活用をお客様に促す

お客様に快適に過ごしていただくため、地域の飲食店やグルメ情報を提供することで、地域の持続的な繁栄に貢献しています。

### ①夕食無しのホテル旅館での周辺の飲食店の活用

- ビジネスホテルでは、グルメマップや飲食店の一覧をフロントや客室に配架するなどして、地元の飲食店や店舗等の活用をお客様に勧めている。
- 周辺の和洋中華など様々なタイプの食事処の食事クーポン付プランを提供するホテル旅館もある。

### ②二食付きが原則のホテル旅館での周辺の飲食店の活用

- 二食付きを基本としている温泉観光ホテルで、近隣の有名ステーキ店でのディナーを夕食に選択できるプランを提供している。
- 宿泊した翌日の昼食以降の候補となる周辺のグルメ情報をはじめ、おやつやデザート、お土産となる地域の名産品や人気のグルメを紹介している。

## (5) ホテル旅館の売店で土産物や地場工芸品等を販売

地域の名産品や工芸品などをホテル旅館内で販売することや店舗を紹介することで、地域の持続的な繁栄に貢献しています。

### ①地域の名産品・工芸品をお土産として販売

- ホテル旅館の売店で、地域の名産品や水産物・農産品を加工したお土産品や地域の伝統的な工芸品や文化に関連する郷土産品を販売している。
- お客様の出発時間に合わせて、近隣の零細加工業者による水産物(干物や塩辛など)や柑橘類の販売を行っている。
- 地域の織物で造った染色加工品、ポーチや置物、テーブルクロスやタペストリー、茶碗・湯のみなどの地域の伝統工芸品を売店で販売している。

### ②地域の名産品・工芸品の販売店を紹介

- 地域名産品取扱店のパンフレットや商品見本を置いている。
- ホテル旅館から、地域の名産品や工芸品、有名店の商品の“地方” 発送ができる申込書を置いている。

### ③福祉活動を支援する一環として製品の販売を支援する

- 福祉ボランティアグループや授産施設で製作した衣類や帽子、工芸品などの販売コーナーを設けて、地域福祉の向上を支援する。

## 5. 都市部における周辺の環境づくり

都市部のホテル旅館にあっては、ビジネス目的の滞在だけでなく、グルメやイベント目的の滞在が有るほか、修学旅行や対外試合のため一人一室で使用するビジネスタイプのホテル利用が増加しており、以前に増して、安全に安心して利用できる環境が求められています。ホテル旅館では、地域と連携して利用者が快適に過ごすことのできる環境づくりに貢献しています。

### (1) 都市部のホテル旅館の周囲の経済的な繁栄

#### ① 商業集積の存在と周辺飲食店と連携した宿泊客の受入環境

- 多様化するニーズにより、都市部においては、宿泊利用者は、ホテル旅館だけの利用という宿泊スタイルにはとどまらず、その都市ならではのグルメやイベントを楽しむ傾向が強まっています。
- グルメの例では、お客様の嗜好により多種多様なニーズがあり、それにホテル旅館が応えるためには、多大な設備と人的な投資を必要とするため、単独の施設での対応は困難ですが、周辺の飲食店と連携し地域のグルメをご案内し、地域でおもてなしすることによって、お客様の満足度も向上します。

#### ② 地域コミュニティと連携した賑わいの創出

- 地域のコミュニティが主体となって実施する夏祭りや出店市などの地域行事に積極的に参加・協賛することで、地域の賑わいのづくりができれば、その地域を訪れる人の増加につながり、飲食店や商店だけでなく宿泊施設を利用するお客様が増加するなど、地域の持続的な繁栄が可能となります。

### (2) 都市部の交通基盤の整備と治安の確保

#### ① 利便性の確保

- 中学・高校の対外試合や修学旅行の宿泊地に使うホテル旅館では、移動方法の選択肢を多様化するため、交通基盤が整備されていることが好ましい。

#### ② 青少年に良好な周囲の環境が必要

- また、防犯上の配慮からも、商業施設がある程度集積するとともに、街灯が整備され、地域の住民の防犯意識が高く消防団や青パトなどによる見回りも期待できる場所が好ましい。
- このような地域との良好な関係を保つためには、ホテル旅館が普段から、地域の多種多様な企業や住民との連携を図り、地域のための活動に自ら参加し、又は活動を支援する必要があります。





## 6. 住民の理解と参加(社会的活動への参加)

ホテル旅館が自ら地域の様々な活動に参加・支援する、又は、従業員の参加を促すことで社会的課題や地域課題の解決を進め、地域の持続的な発展に貢献しています。

### (1) 地域のコミュニティ活動等への支援

自治会等の地域活動へ参加することで、持続的な地域の繁栄に貢献しています。

#### ①花壇の維持活動などへの参加

- 地域の花の会や街づくり協議会などが実施する「花壇やハンギングバスケット維持管理活動」や「花いっぱい運動」などへの参加
- 花の苗の購入費用など資金面での支援

#### ②定期清掃活動や環境整備活動への参加

- 海岸や地域の定期的なゴミ清掃に参加（≒環境活動）
- 地域住民が使う日常的な散歩道や通学路などの整備

#### ③地域の寺社の祭りや自治会の行事への参加

- 地域の寺社の祭事や神事への参加・協賛、従業員の参加を促す。
- 地元自治会の夏祭りや行事への参加や協賛（他に防災訓練、餅つき大会）

#### ④地域行事への参加、イベントへの参加・支援

- 花火大会への協賛
- 地域の様々なイベントや行事への協賛や出店

### (2) 資源のリサイクルなどの環境活動への参加

地域の環境活動へ参加することで持続的な地域の繁栄に貢献しています。

- 紙資源のリサイクルに地域企業と連携して取組む(市で取組む例、地域の企業の呼び掛けで実施している例、町内会・小中学校の活動へ参加する例)
- 廃油のリサイクルに、複数の事業者と共同で取組む
- 海岸や地域の定期的なゴミ清掃に参加する。また、従業員の参加を促す。

### (3) 防災上の行政等への協力(地域自治会や市町の要請)

ホテル旅館の施設・設備を活用して災害に強い地域づくりに貢献しています。

- 災害発生時の避難場所や一時待機場所等として提供する。
- 公共交通機関の途絶時の帰宅困難者の受入れ場所として提供する。
- 津波避難ビルに指定されている。
- 災害発生時に、ホテル旅館の備蓄品や備品の提供などへ協力する。

※なお、ホテル旅館が大規模災害により甚大な被害を受けた場合には、単独での復旧や原状回復が困難となりますので、「行政を交えた地域連携」により、できるだけすみやかに支援できる仕組みを予め構築しておくことが望まれます。

### (4) 福祉団体やボランティア団体の活動支援

地域で実施している様々な福祉活動へ参加し、支援することで、持続的な地域の繁栄に貢献しています。



#### ①募金活動や寄付活動での支援

- 募金・寄付等資金面での支援をしている（赤十字募金、あしなが育英会などの公的募金や歳末助け合いなどTVキャンペーンの各種募金）
- 地元商工会議所の医療必需品寄付活動へ参加

#### ②奉仕活動

- 福祉団体等の活動へホテル旅館が参加する。または、従業員が参加するよう勧奨する。（社会福祉協議会やロータリークラブ、ライオンズクラブ等）

#### ③保護犬活動の支援

- 犬の保護活動や盲導犬育成事業に資金面で支援（飼育個体の購入）
- 保護犬の里親ふれあいの場の提供

#### ④食を通じた福祉活動

- 賞味期限が近い食材をフードバンクに寄付
- クリスマスケーキを支援学校等へプレゼント
- こども食堂への参加・支援

#### ⑤授産製品の購入や販売の支援

- ホテル旅館のアメニティに授産製品を使い、売店に販売コーナーを設ける。
- ロビーや客室に授産製品を紹介するポスターやチラシを置く。

### (5) DMOや観光団体などの活動への協力で地域課題の解決

地域課題の解決のため、地域で行われる活動へ参加し、協力することで、地域の持続的な繁栄に貢献しています。

#### ①オーバーツーリズム対策への参加

- ごみ対策で観光地の定期的な清掃を実施
- ごみ対策で環境客へ“持ち帰り”を呼び掛ける
- 自然環境への影響緩和のため、遊歩道の整備や柵の設置を行う。また、観光案内ガイドを育成し、ガイドによる誘導や観光客の意識啓発を行う。

#### ②観光資源の保護活動への参加

- 地域の自然環境保護活動（≒柵田・里山など地域の観光資源の保全活動）に参加する。また、資金支援する。
- 老朽化した観光施設や設備・備品等の改修費用の資金を支援する。
- 伝統芸能や祭りの後継者育成のため、資金等を支援する。

#### ③担い手養成の取組み

- 環境保全の担い手や観光ガイドの育成(重複)
- 伝統文化の継承者の育成（重複）

#### ④着地型観光の充実(参考資料3「DMOによる持続可能な観光の実現に向けた先進事例」(参考資料集P8)を参照)

- 地域の情報発信力の充実・強化
- 長期滞在を可能とする魅力ある観光資源の創出



## 第3部 お客様との連携でSDGsに取り組む

(参考資料4「ホテル旅館のSDGs宿泊プランについて」(参考資料集P12)を参照)

ホテル旅館がお客様と連携してSDGsに取り組む方法としては、以下のものがあります。

- ⇒学習もしくは体験プランと明示しSDGsを意識・学習しながら利用するもの
- ⇒宿泊場所や食事を提供する一連の業務の中にSDGsを推進する取組みが含まれ、お客様は、特に意識することなくSDGsに貢献するもの
- ⇒特定のお客様を対象として、ホテル旅館がSDGsを推進するもの

### (1) 次代を担う青少年を対象としたSDGs学習宿泊プラン

修学旅行生やゼミ学生などの若者を対象に次のような学習プログラムを提案するものがあります。

- SDGsの学習(座学)
- 環境問題を中心とする実態の認知(海岸汚染・観光地ゴミ問題)
- ホテル旅館のSDGsの取組み紹介(プラスチック排除、オーガニック製品使用、授産製品活用、省資省エネ、バリアフリー客室など)
- SDGs活動への参加(海岸清掃、生物多様性保護、水産資源保護など)

### (2) お客様を対象としたSDGs宿泊プラン

一般のお客様を対象にSDGsに貢献する宿泊メニューの提案をするもので、さまざまな形態があり、代表的なものは次の通りです。

(SDGs活動への参加・体験)

- 歯ブラシや櫛などプラスチック製アメニティの使用を減らす。
- 連泊時の部屋の掃除、シーツ・タオル交換等を希望制とする。
- ジビエ食を提案し、体験してもらう。
- 環境保護活動への参加(近隣観光地の清掃活動、生物多様性のための昆虫保護活動などの里山体験、水産資源保護活動など)

(SDGs推進団体等への寄付行動)

- 宿泊代の一定額やプラスチック不使用分を国際課題解決活動へ募金する。
- 賞味期限の近い食料品をホテル旅館へ持参し、フードバンクへ寄付する。

### (3) お客様がホテル旅館のSDGs推進の対象者となる

ホテル旅館において、要配慮者や社会的弱者を対象として、SDGsの目的に沿った対応をする。

- 障がい者が快適に宿泊できる環境をホテル旅館が整備する。
- バリアフリーの部屋を整備する。
- 社会的に弱い人の活動の場や就労の場をホテル旅館が提供する。
- 年齢制限のない“こども食堂”を運営する。

## あ と が き

本ガイドブックの作成に携わっていただいた委員の皆様から、作成に携わったご感想や「持続的な旅館ホテル経営」と「SDGs推進」に関するご意見を頂戴しておりますので、紹介します。

★ SDGsのキーワードは「持続可能性」ですが、それは1970年代に深刻化する環境問題や資源制約から地球レベルの成長の持続可能性に警告が発せられたことから（ローマクラブの「成長の限界」など）使われ始めました。日本の行政と企業は環境対策、省資源・省エネルギー化を進め80年代は経済・環境の先進国として飛躍しました。しかし、現在は、地球温暖化、ジェンダー、人権などの面で必ずしも先進レベルにはありません。ホテル・旅館業は、SDGsの多くの目標に関わる業界です。厳しい経営環境で大切な資金ですので、流行を追うのではなく、地域（住民、団体、DMO、自治体等）と連携し、従業員も一体となった本業を中心とした地道な取組みが、企業と業界と地域の持続可能な発展をもたらすと思います。（K.N）

★ 今回、ご縁がありご支援させて頂きました。セミナー講師として、受講者様には、観光業界こそSDGsの具体的な具現者だと力説しております。

組合企業様内でもSDGsのモデルとなるような取組みをされている施設も多々ありながら、一方で、せっかくユニークな取組みをされているながら、SDGsのビジネス視点からの訴求力が弱いために、チャンスを逸している施設様も散見されました。厳しい経緯環境とは思いますが、SDGsをビジネス機会の創出（事業の再定義）の視点で、静岡県を盛り上げて頂きたいと僭越ながら願うばかりです。（M.Y）

★ 国内は政治の腐敗と漂流、そんな中での大災害。世界に目をやれば、戦争、貧困・難民問題に環境破壊、異常気象等々。個人の力ではどうにもできない世のありようです。

しかしながら、うそかまことか、ブラジルの一匹の蝶の羽ばたきがテキサスで竜巻を引き起こすこともあるとする「バタフライ効果」の言葉もあります。

われわれの子や孫の世代の未来の豊かさは、身の回りの小さなことに取組んでいくことから始まると、自分に言い聞かせています。（H.F）

★ 今回、ワーキンググループに参加をしてメンバーの皆様と様々な意見交換をさせていただいたことは大変有意義な時間でありました。

特に各施設の皆様からのアンケート結果ではSDGs活動の推進やそれを発信するにあたり、現状の意識や課題が明確に表れていたと感じました。

また参考になる事例やご意見も多かったので、その中から自社と照らし合わせて既に実施していることや新規で持続できることから始めることをいかにお客様に賛同いただくことが大切なことであると再認識をさせていただきました。（K.I）

★ SDGsのガイドブック作成グループに声をかけていただき、心より感謝いたします。

私自身、このワーキンググループの発足当初は、SDGs という単語を聞いたことがあるくらいでしたが、2年にわたって有益な議論をさせていただいた結果、理解度があがったことと思います。SDGsに取り組むことが、将来にむけて新たな視点の創出に繋がると確認できました。”個”と”公”が共に協力し、地球と社会の課題に対処するために、積極的な行動を起こすことが重要になってきます。これからも協力して、より持続可能な未来を創造していきたい。

(M.I)

★ ガイドブック作成に参加させていただき、様々な手法で各ホテル様が持続可能な社会に向けて取り組んでいることがわかりました。一方で売上に繋がらないからと考えられている方やそんなことは昔からしていると考えていらっしゃる方がいるのも現実です。SDGsへの取り組みは、その行為自体を明文化し、お客様へお知らせすると同時に従業員への周知徹底が出来ます。まだ取り組みを明文化されていないホテル様は、是非取り組んでみてください。売上向上や経費削減、従業員の働く意識向上など様々な効果を生みだしています。

(H.I)

## 参考資料集

参考資料 1	宿泊業の業務・取組みが貢献するSDGs目標の一覧	1
参考資料 2	県内における地域連携(パートナーシップ)の具体例	6
参考資料 3	DMOによる持続可能な観光の実現に向けた先進事例 【持続可能な観光の実現に向けた先進事例集(国連世界観光機関(UNWTO)より)】	8
参考資料 4	ホテル旅館のSDGs宿泊プランについて 「旅行者の9割が意識！サステナブルな宿泊プラン事例14選」(要約)	12
参考資料 5	アンケート結果について	18
参考資料 6	旅館ホテル持続可能な経営推進事業調査検討ワーキング	28



SDGsの17目標は、以下の通りです。

<p>社会的課題に関するもの</p>	<p><b>1 貧困をなくそう</b> あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ</p> <p><b>2 飢餓をゼロに</b> 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する</p> <p><b>3 すべての人に健康と福祉を</b> あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する</p>	<p><b>4 質の高い教育をみんなに</b> すべての人々に包摂的(※)かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する</p> <p><b>5 ジェンダー平等を実現しよう</b> ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る</p> <p><b>6 安全な水とトイレを世界中に</b> すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する</p>
<p>経済活動の課題に関するもの</p>	<p><b>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</b> すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する</p> <p><b>8 働きがいも経済成長も</b> すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する</p> <p><b>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</b> 強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る</p>	<p><b>10 人や国の不平等をなくそう</b> 国内および国家間の格差を是正する</p> <p><b>11 住み続けられるまちづくりを</b> 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする</p> <p><b>12 つくる責任 つかう責任</b> 持続可能な消費と生産のパターンを確保する</p>
<p>自然の持続可能性に関するもの</p>	<p><b>13 気候変動に具体的な対策を</b> 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る</p>	<p><b>14 海の豊かさを守ろう</b> 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する</p> <p><b>15 陸の豊かさも守ろう</b> 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る</p>
<p>推進の枠組みに関するもの</p>	<p><b>16 平和と公正をすべての人に</b> 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する</p>	<p><b>17 パートナースhipで目標を達成しよう</b> 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>

ホテル旅館の様々な業務がSDGsの推進に貢献しています。

この一覧では、「利用者の安全安心を目指す取組み」「地球環境の保全に関する取組み」「良好な職場環境に関する取組み」「地域と連携した取組み」「国際社会へ働きかける取組み」の5つの大きな柱と1～16の柱に分類し、該当するSDGs17目標の欄に「○」を付しました。

具体的な業務・取組み内容	貧困なし	飢餓なし	健康福祉生活	生涯学習教育	男女平等	水の保全	エネルギー	経済成長雇用	強靱インフラ	国と人の平等	居住持続可能	作る使う責任	気候変動対策	海の豊かさを守る	陸の豊かさを守る	平和公平制度	協力協働	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
<b>【利用者の安全安心を目指す業務と取組み】</b>																		
<b>1 利用者の健康に関する業務と取組み</b>																		
<b>① お客様の健康に配慮した取組み</b>																		
新型コロナなどの感染対策実施			○															
HACCAP対応の食事提供			○															
受動喫煙対策(全館禁煙)			○															
<b>② 誰もが快適に過ごせる取組み</b>																		
バリアフリーの設備や対応			○							○								
複数言語でのガイドや対応			○							○								
フロントでの24時間対応			○							○								
アレルギー対応メニューを提供			○							○								
<b>③ お客様に癒しを提供</b>																		
温泉や飲食など休息や安眠、非日常体験で癒しと明日への活力を生み出す			○															
<b>④ 自転車コースやピクニックコース等健康に配慮した提案</b>																		
			○				○											○
<b>2 利用者の安全・安心に関する業務と取組み(災害等への備えをしている)</b>																		
災害時事業継続計画を策定している												○	○					
消防訓練や避難訓練を実施している												○	○					
非常食や飲料水を備蓄している												○	○					
お部屋に防災グッズを設置している												○	○					
要援護者受入協定を締結している												○	○					○
津波避難ビルに指定されている									○		○	○	○					○
<b>【地球環境の保全を目指す業務と取組み】</b>																		
<b>3 地球環境への負荷を軽減する業務と取組み</b>																		
<b>① 環境認証のある農・海産物を使う</b>																		
						○		○				○	○	○	○			
<b>② 有機原材料製品を使う</b>																		
						○		○				○	○	○	○			
<b>③ 再生可能原材料の製品を使用する</b>																		
食器をトウモロコシ製や紙製に												○	○		○			
間伐材製品を導入している												○	○		○			
<b>④ 廃棄するものを減らす</b>																		
							○					○	○	○	○			
<b>⑤ マイクロビーズ(注)なし製品を使用</b>																		
												○	○	○	○			
<b>4 水資源を守る業務と取組み</b>																		
<b>① 節水型の機器を使用</b>																		
トイレ、シャワーヘッド、食器洗浄機等						○						○	○					
水道節水弁を設置						○						○	○					
自動水栓に切り替える						○						○	○					
<b>② 循環式にして節水する</b>																		
						○						○	○					
<b>③ 連泊時リネン類交換を希望制に</b>																		
						○						○	○					
<b>④ お客様と従業員の意識啓発で節水</b>																		
						○						○	○					
<b>⑤ 井戸水や雨水等を水遣りに活用</b>																		
						○						○	○					

具体的な業務・取組み内容	貧困なし	飢餓なし	健康福祉生活	生涯学習教育	男女平等	水の保全	エネルギー	経済成長雇用	強靱インフラ	国と人の平等	居住持続可能	作る使う責任	気候変動対策	海の豊かさを守る	陸の豊かさを守る	平和公平制度	協力協働
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
<b>5 再生エネルギーを利用する業務と取組み</b>																	
薪やペレットのボイラーやストーブ使用							○		○			○	○				
囲炉裏（薪）を活用している							○		○			○	○				
太陽光や小水力発電を電力の一部に							○		○			○	○				
<b>6 節電でエネルギー消費を削減する業務と取組み</b>																	
<b>① 消費電力の少ない機器を使用する</b>																	
LED電球や省エネ空調機等を使用							○		○			○	○				
人感センサー照明に変換する							○		○			○	○				
調光機能システムで使用時間を削減							○		○			○	○				
<b>② 意識してこまめな消灯や操作で節電する</b>																	
節電の呼びかけをしている。							○		○			○	○				
設定温度調整をお客様へお願いする							○		○			○	○				
不必要な電源は常時OFFにする							○		○			○	○				
日中のロビーや看板照明を消灯する							○		○			○	○				
<b>③ 仕組みや方式を変えることで節電する</b>																	
24h 飲料コーナーで客室冷蔵庫廃止							○		○			○	○				
連泊時の客室掃除などを希望制に							○		○			○	○				
<b>7 高効率機器や省エネで化石燃料の消費を削減する業務と取組み</b>																	
<b>① 高効率・省エネ機器の使用</b>																	
<b>② 化石燃料の消費を削減する移動手段を促進</b>																	
エコカーや電気自動車を送迎する							○		○			○	○				
電気自動車充電設備を設置している							○		○			○	○				
サイクリストのお客様を歓迎する							○		○			○	○				
自転車等での周遊観光を提案する							○		○			○	○				○
<b>③ 公共交通機関の利用を促進</b>																	
お客様や従業員へ利用を呼び掛ける							○		○			○	○				
利用のお客様へ割引引きを行う							○		○			○	○				
<b>8 フードロスを削減する業務と取組み</b>																	
<b>① 仕入れ方法や使い切りで食材のロスを削減</b>																	
共通食材の使用で食材のロスを削減												○	○	○	○		
近隣の店からこまめに食材を仕入れる												○	○	○	○		○
<b>② 食品の提供量を少なくしてロスをなくす</b>																	
お客様の事前申告で料理分量を調整												○	○	○	○		
バイキングを大盛から小出しへ変更												○	○	○	○		
バイキングからセットメニューに変更												○	○	○	○		
<b>③ 食べ残さないよう意識啓発している</b>																	
食べ残し削減のポスターを掲示												○	○	○	○		
食べる時間を設ける3010運動 (注)												○	○	○	○		
<b>④ 残余食材で子ども食堂を開催</b>																	
賞味期限が近い食材をフードバンクへ	○	○										○	○	○	○		○
<b>9 プラスチックを削減する業務と取組み</b>																	
<b>① プラスチック製品を再生可能原材料へ変える</b>																	
紙製や陶器製のカップ・ストロー							○		○			○	○	○	○		
竹製のアメニティやスプーン・フォーク							○		○			○	○	○	○		
植物由来のごみ袋やシャワーキャップ							○		○			○	○	○	○		

具体的な業務・取組み内容	貧困なし	飢餓なし	健康福祉生活	生涯学習教育	男女平等	水の保全	エネルギー	経済成長雇用	強靱インフラ	国と人の平等	居住持続可能	作る使う責任	気候変動対策	海の豊かさを守る	陸の豊かさを守る	平和公平制度	協力協働
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
<b>② プラスチック製品を廃止、減量する</b>																	
プラスチック製のスプーン類を廃止							○					○	○	○	○		
アメニティグッズをバイキング方式に							○					○	○	○	○		
アメニティグッズの種類は最少へ削減							○					○	○	○	○		
アメニティグッズを有料化する							○					○	○	○	○		
髭剃機や洗面用具の持参を呼び掛ける							○					○	○	○	○		
<b>③ 繰り返し使う方式や多人数で使える方式とする</b>																	
ブッシュボトルのシャンプー・リンス容器							○					○	○	○	○		
繰り返し使える容器での仕入れ							○					○	○	○	○		
大浴場備付けの櫛を消毒再利用							○					○	○	○	○		
<b>10 ペットボトルを削減する業務と取組み</b>																	
<b>① ペットボトルを紙やアルミ製に変更</b>																	
ペットボトルを紙やアルミ製に変更							○					○	○	○	○		
<b>② ペットボトルに代わる方法始める</b>																	
客室飲料水に代え飲物コーナー開設							○					○	○	○	○		
従業員のマイボトル持参使用を奨励							○					○	○	○	○		
<b>11 資源の消費量を削減する業務と取組み</b>																	
<b>① 消耗品の使い切りへの協力を求める</b>																	
トイレトーパー使い切り							○					○	○		○		
ティッシュペーパー使い切り又は補充式							○					○	○		○		
<b>② ペーパーレス方式で紙消費を削減</b>																	
お客様情報をPCやスマホで共有							○					○	○		○		
予約情報を打出さずPC等から閲覧							○					○	○		○		
客室TVやスマホで館内の案内をする							○					○	○		○		
会議や研修資料をスマホやPCで閲覧							○					○	○		○		
広告を紙方式から電子媒体に変換							○					○	○		○		
<b>③ 使い捨て方式の変更</b>																	
使い捨て割箸を繰り返し使うエコ箸に							○					○	○		○		
<b>12 資源リサイクルの業務と取組み</b>																	
<b>① 資源をリサイクルして使用している</b>																	
廃油を再生燃料や飼料として活用							○					○	○		○		
ペットボトルのリサイクル食器を使用							○					○	○		○		
コルク栓のリサイクルコースターを使用							○					○	○		○		
廃棄書類・段ボールの再生製品を使用							○					○	○		○		
社内雑紙再生トイレトーパー利用							○					○	○		○		
金属資源のリサイクル							○					○	○		○		
残飯自家製糊でリネン類の糊付け							○					○	○		○		
<b>② 古紙、アルミ缶の障がい者施設寄付</b>																	
古紙、アルミ缶の障がい者施設寄付			○				○					○	○		○		
<b>【良好な職場環境を目指す業務と取組み】</b>																	
<b>13 働きやすい職場環境づくりの業務と取組み</b>																	
<b>① 男女の差のない職場環境</b>																	
男女差なく研修や資格取得を支援				○	○			○		○							
男女差のない管理職への登用					○			○		○							
男女差の無い同一業務同一賃金制					○			○		○							
<b>② 多様な人材雇用</b>																	
高齢者・外国人・障がい者の雇用推進								○		○							



具体的な業務・取組み内容	貧困なし	飢餓なし	健康福祉生活	生涯学習教育	男女平等	水の保全	エネルギー	経済成長雇用	強靱インフラ	国と人の平等	居住持続可能	作る使う責任	気候変動対策	海の豊かさを守る	陸の豊かさを守る	平和公平制度	協力協働	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
<b>③ 生産性の向上・勤務時間短縮と休暇が取得できるよう努めている</b>																		
生産性向上・省力化機器などを導入					○			○										
作業効率化と勤務時間短縮に努める					○			○										
介護・育児休暇や年休の計画的な取得					○			○		○								
毎月、全館休館日を設けている					○			○		○								
<b>④ 職場の人間関係や環境の改善に努めている</b>																		
社内表彰やお祝い制度がある					○			○		○								
従業員満足度アンケートで環境改善					○			○		○								
<b>【地域との連携を目指す業務と取組み】</b>																		
<b>14 地域資源を活用する業務と取組み</b>																		
<b>① 地元の食材や産品、工芸品などを活用している（フードマイレージ<sup>(注)</sup>等に配慮）</b>																		
地元食材の料理や地酒、ジビエを提供							○	○				○						○
地域食材を地元の直売所で購入							○	○				○						○
地元産品のお土産販売							○	○				○						○
伝統工芸品を内装やホテル旅館備品に							○	○				○						○
<b>② 地元にある様々な資源を紹介している</b>																		
お客様に周辺食事処情報を事前案内							○	○										○
地域の舞踏、太鼓・楽器演奏を提供				○				○										○
地域の歴史・文化・芸能を紹介				○				○										○
地域の自然観察ツアーを造成				○			○	○							○			○
<b>15 地域と連携した地域社会の発展に貢献する業務と取組み</b>																		
<b>① 地域や自治体の行事に参加</b>																		
文化・祭り・清掃など地域活動へ参加				○				○			○					○		○
お客様参加の海岸掃除を実施											○			○	○			○
<b>② 従業員の地域活動参加を支援</b>																		
消防団活動への従業員参加を配慮											○		○					○
<b>③ 自治体や各種団体と連携してSDGsの推進</b>																		
クール・ウォームシェア施設 <sup>(注)</sup> へ登録							○				○	○	○					○
市の未来都市づくりパートナー <sup>(注)</sup> 登録								○			○		○					○
県ホテル旅館組合や支部組合と協働								○			○							○
<b>【国際社会への働き掛けを目指す業務と取組み】</b>																		
<b>16 国際社会の発展へ寄与する業務と取組み</b>																		
<b>① フェアトレード促進</b>																		
フェアトレード商品 <sup>(注)</sup> の購入・使用	○							○		○								○
<b>② 外国人の人材育成支援</b>																		
インターンシップの受入れを支援	○			○				○		○								○
<b>【注】</b>																		
マイクロビーズ	石鹸や洗剤、歯磨き粉の中に含まれる“浄能力を高めるための細かいプラスチック粒のこと。浄水場の排水の網目”をすり抜け海洋汚染の原因となる。																	
3010運動	宴会などでの食べ残しをなくすため、「最初の30分と終了間際の10分間は自分の席で料理をたべる」ことを奨励する運動																	
フードマイレージ	生産地から消費地までの運搬に必要なエネルギーを「食糧重量×移動距離」で数値化したもの。大きいほど排出されるCO2。が大きくなるため、農林水産物をできるだけ近くで消費する地産地消が好ましい。																	
SDGsの未来都市	内閣府が選定した地方公共団体によるSDGs達成に向けた優れた取組を提案する都市。2018年度から2022年5月までに全国で154都市が指定され、県内では、2018年に静岡市と浜松市が、2020年に富士市と掛川市が、2021年に富士宮市が、2022年に御殿場市の計5市が選定されている。																	
クール・ウォームシェア施設	それぞれが冷房や暖房を使うのではなく、みんなでひとつの部屋や建物に集まり、涼しい空間や温かい空間をシェアすることで、エネルギー消費量を減らす県や市町の「クール・ウォームシェア」運動へ協力する施設。																	
フェアトレード商品	開発途上国の産物や製品を、輸出国である開発途上国と輸入国が対等の立場で、適正価格で公正に取引し輸入した商品																	



### 〈その1〉沼津市戸田 海のほてるいさばの取組み

組 織：戸田観光協会と戸田温泉旅館組合の代表者を川合健次氏が担い、一体となって、地域の関係者や事業者を巻き込んで様々な事業を展開している。

#### 観光資源の保全活動

- 歴史的建造物保全 「松城家住宅」を指定管理者として管理している
- 伝統文化保全継承 戸田漁師踊りや戸田音頭、戸田黒潮太鼓の後継者養成
- 観光資源保全活動 戸田ほたるの保護のため、川の清掃を実施していた。  
コロナで途切れたが、復活させたい。  
タカアシガニは、商工会戸田支所の飼育放流事業に協賛している。  
(県水産海洋技術研究所への委託研究)
- 花壇維持管理活動 シルバー人材センターへ委託し、出逢い岬や大久保川の並木道の花壇の草取りを実施
- エコ観光造成提案 電動自転車による環境に優しい戸田観光を造成
- 定期清掃の実施 地元小中一貫校、こども園、法人会が合同で実施する御浜海水浴場の清掃に協力するほか、観光協会と温泉旅館組合と協力して、毎月清掃を実施している

#### 地域課題の協議等

- 市商工会戸田支所が主体の協議会へ、観光協会、連合自治会、戸田漁協などの団体と共に地域課題の協議の場を設けている。

課 題：人口減少で、豊かな自然の保全活動に手が届かなくなることが大きな課題。

従来、漁師町として栄えてきた経緯があるが、地域が一体となって、漁業も、旅館も商店も地域全体で栄えるように考えていく必要がある。

様々な課題に、地域が一丸となって取り組んでいるが、今後、外部からの人材を迎い入れ、地元の人に溶け込んで、協調していくことができるかどうか不安がある。

## 〈その2〉川根本町 寸又峡翠紅苑の取組み

組織：地域の旅館や商店などで、業種を超えた「寸又峡の自然を美しくする会」を組織し、駐車場の利用料金を財源として観光パンフレットやガイドブック、ポスターなど地域の活性化に役立つ物を作成・活用している。複数の団体名があるが、構成員は同じで、榛北旅館組合の望月孝之組合長が代表をつとめる。


- 観光資源の保全活動 「夢のつり橋」のところに、募金箱を設置し観光利用客に観光資源維持のための資金を募っている。年間300～500万円の自主財源が集まっている。
- 山岳資料保全継承 「南アルプス山岳図書館」を、2021年に建設・整備し、南アルプス南部の山と川、民族に関連した小説や資料約9,000冊を収集している
- 観光資源保全活動 「夢のつり橋」に至る道路整備や表示板の設置などを実施  
かぶと虫の飼育や植物の保全を行っている
- 山岳ガイドの育成 豊かな森林資源を観光客から保全するため、山岳ガイドを育成し観光客のガイド役を担っている。（ほぼ日帰り）
- 定期清掃の実施 春、夏、秋の各シーズンの前に、最寄りの鉄道駅までの道路のゴミ拾いと草刈りを実施している。

### 地域課題の協議等

- 同じ構成員で、事業に合わせて複数の事業団体名を持っており、地域の課題について、常に構成員で協議しながら取組んでいる。

課題：高齢者と後継者不足により35軒有った旅館や商店が13軒にまで減少してきており、構成員の活動意欲の減少が見られる。ボリュームのある仕事ができなくなっている。このような事態を打開するため、“賑わい”を創り出すことにより、この地域に来て「いっしょにやりたい」という人材を求めている。  
「夢のつり橋」で実施している募金方式に代えて、町で「(仮)使用料徴収条例」を制定し、寸又峡の観光関連団体でしか使えないような仕組みとすることで、安定した財源の確保を計画している。

## 【持続可能な観光の実現に向けた先進事例集(国連世界観光機関(UNWTO)より)】〈その1〉

表題	歴史的資源を活用した持続可能な観光まちづくり	
団体名	一般社団法人キタ・マネジメント	
種別	DMO	
地域名	愛媛県大洲市	

### <はじめに>

人口減少により、景観保全地区の町並みが年々失われ、町の荒廃が進んでいました。大洲市では年間 700 人程度のペースで人口が減少していき、城下町の伝統的な建造物が立ち並ぶ肱南エリアでは、空き家が増えつづけており、景観を形成していた 400 年以上歴史ある建物がどんどん消失し、更地化の一途を辿っていました。大洲市は長年、景観保全地区である肱南エリアの町並みが失われていることを危惧しており、この問題解決のため、長期にわたり景観保全のため古民家をはじめとした歴史的建造物の所有者への補助金の整備や条例施行等は実施していました。しかし住居用の物件を古い住居のまま維持することは大変難しく、所有者に負担をかける形となっていました。結果として所有者が物件を維持することが困難となり景観保全地区の荒廃・更地化が進んでいました。そこで行政、民間事業者、金融機関が連携し、住民の理解を得ながら、町並みが再生され、景観の維持・保全が進んでいます。具体的には 2018 年に、行政サイドから「大洲市」、民間サイドから歴史的建造物再生を手掛ける「一般社団法人ノオト」「(株) NOTE」、ホテル運営を担う「バリューマネジメント(株)」、そして地元金融機関である「(株) 伊予銀行」、が連携協定を締結しました。この連携協定のもと、地域 DMO である一般社団法人キタ・マネジメントが大洲市により設立され、さらに同社と(株) NOTE、伊予銀行グループとの共同出資により株式会社 KITA が設立されました。KITA は地元 NPO 法人で古民家の保全活動をしていた「YATSUGI」や近隣住民と協働し、町並みの景観を形成する歴史的建造物の賃借や買取を実施し、大洲の歴史的建造物の文化性や価値を残しながら改装を実施。バリューマネジメント(株) が運営する宿泊施設として賃貸することで収益を上げるとともに町並みを形成する建造物の保全に成功しました。また(株) 伊予銀行は全体の事業の資金調達源として「大洲まちづくりファンド」を組成し、再生した歴史的建造物で起業・出店を希望する事業者が進出しやすい環境整備なども実施しています。結果として、歴史的建造物を活用し、NIPPONIA HOTEL 大洲城下町として利用することで、大洲市の古い町並みが保全・維持されました。



[Shoko Takayasu © August 2020]

### <経済> 経済的に成長できる

官・民・金が連携し、住民の理解も得ながら、歴史的建造物を観光活用することで収益を生み、景観を維持する持続可能な循環を仕組化出来たことが成功の要因といえます。

具体的には大洲市の歴史的な地区である肱南エリアの歴史的建造物を観光活用する場合、大洲市は改装費用の 1/2 ~ 2/3 の費用を補助する制度を確立するとともに、市が保有する文化財や観光施設利用の規制緩和を推進しました。さらに市は、近隣住民とともに歴史的建造物を活用したイベント「城下の MACHIBITO」を実施。「城下の MACHIBITO」とは、全国各地から 100 を超えるアート・クラフト系の事業者を誘致し、歴史的建造物の中で出展していただくイベントです。また数年前から活動している NPO 「YATSUGI」は、肱南地区にある歴史的建造物の清掃活動を地元住民と行うことで、歴史的建造物の価値

を改めて地元住民に伝えるとともに物件所有者の活用希望をヒアリングする機能を担いました。金融機関はファンドを組成することで民間参入の資金調達面をサポートする体制を整え、事業者の参入ハードルの押し下げを行いました。結果として空き家となり使われていなかった歴史的建造物が所有者の希望により KITA が改装を担い、ホテル事業者に賃貸を行うことで、歴史的建造物自体が維持保全のための収益を生み出す仕組みが出来上がりました。

#### <環境> 環境的に適正である

既存の歴史的資源である空き家となった古民家・町家を利用してホテル化することで新規でホテルを建てるよりも建築による温室効果ガスの排出を削減しています。

#### <社会・文化> 社会・文化的に好ましい

- ・ Good Design 賞ノミネート
- ・ 33 棟の空き家解消
- ・ 20 社の事業者参入

本事業により空き家だった 33 棟（内 1 つは文化財）が活用され、ホテルとして再生されました。また本事業を行うことで町に賑わいを取り戻すきっかけとなり、町の次なる事業者創出につながりました。実際、本件をきっかけに、U ターン起業、第二創業、市外企業誘致、地元企業による事業転換、I ターン



起業、地元企業の事業拡張など合計 20 社が空き家だった物件を活用し、この町へ参入しています。この結果として大洲の歴史的資源の保存と活用への取り組みは、国内外のメディアから注目されています。朝日新聞、日本経済新聞、AFAR、CNN、La Repubblica など多くのメディアに、住居の改修や城での宿泊についての記事や説明が掲載されています。これにより、観光地としての大洲の認知度向上に寄与しています。


#### <その他>

世界の持続可能な観光地 TOP100 選（2022 年）

日本版持続可能な観光ガイドライン 2021 年度モデル地区（観光庁）

第 14 回観光庁長官表彰（2022 年）



表 題	世界に開かれた持続可能な観光地を目指して	
団 体 名	一般社団法人 田辺市熊野ツーリズムビューロー	
種 別	DMO	
地 域 名	和歌山県田辺市	

### 〈はじめに〉

熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社と那智山青岸渡寺が熊野三山とされ、それらの霊場を結ぶ参詣道が「熊野古道」です。これら霊場と参詣道を取り巻く、人と自然が長い年月をかけて育んできた文化的景観が類を見ないものとされ、2004年7月に「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録されました。



世界遺産に登録後、状況は一変し、1日100台もの観光バスが訪れるようになり、短い滞在で次の観光地へ去って行く

ような団体ツアーの観光客が急増しました。ツアー参加者の滞在時間は短く、熊野古道の魅力を体感するには不十分で、観光客にとって古道は「ただの山道」でしかなく、不満足な旅であったと思われます。また大量の観光客が古道を歩くことで熊野古道が傷み、草花の採取といった行為もあり、古道の文化的景観が劣化していきました。

このように、観光客にとっても住民にとってもお互いがストレスを感じる状況を解決すべく、住民を巻き込んだ話し合いが繰り返され、田辺市熊野ツーリズムビューローが課題解決に向け動き出すこととなりました。2006年に市内の5つの観光協会を構成団体として設立され、「世界に開かれた持続可能な観光地」を目指し、受け入れ態勢の整備、情報発信・プロモーション、着地型旅行業を事業の中心として、地域の事業者の皆様と共に観光地づくりの取組を行っています。

### 〈ステップA〉 地域のなりたい姿と課題を明確にする

まず、「地域のなりたい姿」を考えるにあたり、以下の基本スタンスを掲げました。

- ・ブームよりルーツ
- ・「乱開発」より「保全・保存」
- ・「マス」より「個人」

海外の個人旅行者、とくに日本古来の文化に関心の高い欧米豪にターゲットを絞る事とし、地域の観光関連事業者の皆様とワークショップを開催し、インバウンドを受け入れるための課題の抽出や、その対策について話し合いました。

その結果、外国人観光客が安心して旅ができ、観光事業者が英語を話せなくても受入が出来るような受入地の整備が必要であるという課題を共有するとともに、ビューローの観光戦略の基本スタンスを「世界に開かれた持続可能な観光地を目指す」と決めました。

### 〈ステップB〉 解決する課題を特定し、取組、指標を具体化する

外国人が安心して旅ができ、観光事業者が英語を話せなくても受入が出来るようになるためには何が



必要か、観光事業者を中心とした地域のステークホルダーと、2007年から約2年間で延べ60回のワークショップを開催し、観光地のエリアマップやお宿のチェックインに必要な指差しツール、バス時刻表等を日英併記で作成するなど、地域の観光事業者の皆様と共に受入地の整備を行いました。

また、行政においては、熊野古道に設置されている道標について、設置主体ごとにデザインも材質もバラバラであったものを、木質化とローマ字併記による統一を図る事で道迷いを防ぎ、安全に熊野古道を歩いていただけるよう環境整備を行いました。

受入地の整備と並行し、プロモーション活動としてプレスツアーやファムトリップを開催するとともに、ヨーロッパへの海外プロモーションも行ったのですが、その際に、海外エージェントからの指摘を受け、海外の旅行者を受け入れるシステムがないことに気付かされ、新たな課題に直面しました。

新たな課題は、熊野古道を歩くためにはお宿への宿泊が必要となるが、海外からの旅行者は誰に予約をお願いすればいいのか？受け入れる仕組みはないのでは？というものでした。

この課題を解決するため、2010年にビューローを法人化すると共に第2種の旅行業を取得し、着地型旅行業を開業する事としました。

観光客と地域の事業者の間をコーディネートする中間支援組織として、予約手配やクレジットカードによる事前決済等、旅行者が安心・安全に旅をすることができ、地域の事業者も安心してお客様を受入れ続ける事ができるよう取り組んできました。

### <ステップC> 指標を計測し、分析・評価し、公表、改善する

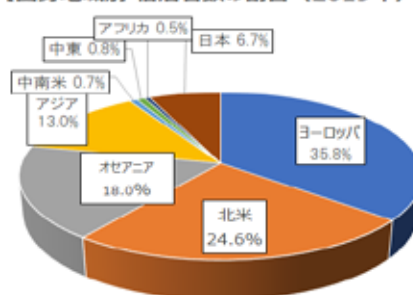
旅行業の取扱い件数や売上高は、経済面における指標として直接使えるため、その内容を分析・評価・公表し、改善に役立てています。

田辺市における外国人延べ宿泊者数は2014年から2018年の5年間で約8倍となり、また、外国人宿泊者数の内訳は、ヨーロッパ35.8%、北米24.6%、オセアニア18%で欧米豪が外国人全体に占める割合は実に78.4%を占めるに至りました。また、外国人観光客は日本人に比べ滞在日数も長いことから、一人当たりの平均単価も2019年度ベースで日本人の約3倍の消費額となっています。

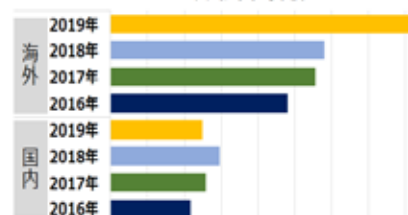
古道の風景は歩く人によって完成します。また、歩く人がいなくなると道は自然に戻っていきます。古道を歩く旅人を呼び続け、活用することで、古道や文化的景観の保全につながります。これからも保存と活用のバランスの取れた観光地を目指して取り組んでいきます。



【出身地域別 宿泊者数の割合（2019年）】



1人当たり平均単価



### 「旅行者の9割が意識! サステナブルな宿泊プラン事例14選」

By TABLE SOURCE 編集部 In コラム Posted 2023/01/23 Updated 2023/10/16

<https://www.table-source.jp/column/lodging-plans/> の内容を要約

この「14選」で紹介されている宿泊プランは、概ね次の5つのくくりとなっています。

- ①SDGsについて学習する、又は、SDGsの取組みや活動を体験する宿泊プラン
- ②宿泊施設が主体で進めるSDGsの取組みにお客様を参加させる宿泊プラン
- ③SDGs基金や活動団体を支援する宿泊施設の取組みに参加する宿泊プラン
- ④障害のある人への理解や共感を促す宿泊プラン
- ⑤障害のある人を対象とした宿泊プラン(宿泊施設独自の取組み)

#### 【①SDGsについて学習する、又は、取組みや活動を体験する宿泊プラン】

##### 子供を対象とした楽しくSDGsを学ぶ宿泊プラン(東京都)

- クイズ形式で、施設館内のSDGsに関連したクイズを解くことで、SDGsについて楽しく学ぶ宿泊プランを始めた。(全問正解者には、景品がもらえる。分からない場合は、スタッフに尋ねるとヒントが貰える。)
- 客室に飾っている生花を再利用して“ポップ”をつくる体験ができる。
- 車いすに乗る体験や車いすを押す体験ができる。
- 館内にあるバリアフリールームをスタッフの案内で探索する体験できる

##### 農業体験を通じて里山の美しさと自然の恵みを体感し、 里山環境や生物多様性の保全を学ぶ大人のための体験型宿泊プラン(滋賀県)

- 環境保全型農業を実践する地域で、稲刈り体験を通して、里山環境や生物多様性の保全について学ぶことができる体験型宿泊プラン。
- 1日目はホテル館内で、里山環境の保全活動に取り組んできた方からのレクチャーと交流会を開催。
- 2日目は、稲刈りや稲を自然乾燥させる「はさ掛け」体験の後、地域のブランド牛のバーベキューや地域の魚の天ぷらなど地産食材をふんだんに使用した夕食が提供される。

### 地域農業の手伝いや森林保護活動を通じてSDGsを学ぶ体験型宿泊プラン(長野県)

- 地域と自然と人をつなぎ、ゲストにエコでエシカルな旅行を提案することを目的として2つの「SDGsステイプラン」を作った。
- 1つ目は、絶滅の危機に瀕している地域発祥の「いちご」の原種を育てる農作業を通して、地域産業を活性化させる援農プラン。地元市の感謝状が贈呈される。
- 2つ目は、スキー場の森の間伐作業体験等のフィールドワークで自然環境や環境保全への理解を深める学習プログラム付きプランで、森を手入れすることで光合成を促進し、二酸化炭素の吸収量を増加させ、森の生態系保全に貢献する。

## 【②宿泊施設が主体で進めるSDGsの取組みにお客様を参加させる宿泊プラン】

### ジビエを資源として活用する地産地消に貢献するディナー付き宿泊プラン(静岡県)

- 山林で増加するシカによる農作物や自然への深刻な被害を防ぐため、シカを適正頭数まで捕獲し食用として有効活用する活動に、賛同した静岡県のホテル旅館において、捕獲されたシカを味わうディナー付宿泊プランを実施。
- ディナーのメインには、塩麴でマリネすることでやわらかく仕上げた「骨つきシカロース肉のロティ(蒸し焼き)」を提供。
- メイン以外はセミブッフェスタイルで、地産地消を通じた“エシカル”をコンセプトに、豊富な山海の幸を取り入れた料理を提供。

### サステナブル格付け3つ星シェフの地産地消朝食ボックス付き宿泊プラン(岡山県)

- 岡山県のホテルでは、サステナブルなフードシステムを実現するための飲食店レーティングプログラム「FOOD MADE GOOD」で、3つ星を取得した「ボッテガブルー」大島シェフ監修の朝食ボックス付き宿泊プランを実施。
- 放牧によって育てられる牛「蒜山ジャージー」や蒜山野菜、地魚などの新鮮な地産食材をふんだんに使った朝食ボックスを通じて、地域の魅力を発信すると同時に、「食べることでサステナビリティに貢献できる」という価値を提供している。

### フェアトレードに触れながらホテルステイを楽しむ宿泊プラン(東京都)

- 東京のホテルでは、「フェアトレードに触れてみる特別ステイ」と題して、客室内の備品や朝食で国際フェアトレード認証製品を体験し、味わうことができる宿泊プランを実施した。
- 客室には、日本製フェアトレードコットンタオルや、有機JAS認証コーヒー、スリランカ産の最高級茶葉のみを使用したオーガニックティーなど多彩な国際フェアトレード認証製品を用意。
- 朝食では、カカオ農家が経営する「DIVINE(ディバイン)」のチョコレートやスリランカのウバ地方で栽培されたウバティーなど、フェアトレード食材を使用したメニューを提供する。

### 食料品の寄付活動「フードドライブ」に気軽に参加できる宿泊プラン(神奈川県)

- 横浜のホテルでは、食料品の寄付活動「フードドライブ」のさらなる普及を目指し、宿泊ゲストが気軽にフードドライブに参加できる宿泊プランを実施。
- このプランでは、チェックイン時に家庭で食べ切れない食料品を持参することで、ゲストは500円割引を受けることができるというもの。寄付できる食品には「チェックイン日から2ヶ月以上の賞味期限があるもの」「常温で保存できるもの」「生鮮食品、冷凍食品、手作り品、アルコール類はのぞく」となどの条件が設けられており、「フードバンク横浜」を通して市内で支援を必要とする人々へ無償で配布されるというホテルステイを楽しみながら食品ロスの削減に貢献できる宿泊プラン。

### プラスチックごみの削減に貢献できる宿泊プラン(東京都)

- 大手旅行会社は2022年4月に施行された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」を受けて、「プラスチックごみ削減宿泊プラン」を実施した。現在、対象施設は、長野県志賀高原エリアの3ホテル。
- “アメニティ無し”と“お客さまが持参したマイボトルにドリンクを提供するサービス”を組み合わせたプランを通じて、ゲストに「旅行をする時はマイボトルやアメニティを持参する」という新しい旅のかたちを提案している。

### ヴィーガンのエステ&ディナー付き宿泊プラン(静岡県)

- 静岡県のホテルでは、肉、魚、卵、乳製品などの動物性食材を一切使用しないヴィーガンディナーとヴィーガン対応のスキンケアラインを使用したエステ付き宿泊プランを実施している。
- ヴィーガンディナーでは、「地野菜とトマトのヴィーガンスパゲッティ」や「とんぶりとレタスのサラダ アボガドのピューレ添え」など、地産野菜を積極的に使用した6品のメニューを提供。ヴィーガン認証団体「EVU(European Vegetarian Union)」の認証を受けたスペイン産ヴィーガンワインも用意している。
- エステでは、「食べられない化粧品は作らない」をモットーに作られたオーガニックのスキンケアラインに加え、動物実験なしで、動物由来成分不使用のコスメ・オイルを使用。ヴィーガンのゲストだけでなく、ヴィーガンでないゲストにも、期間限定で動物性食品を食べない「パートタイムヴィーガン」としてヴィーガンのライフスタイルを始めしてみるきっかけを提供するプラン。

### 【③SDGs基金や活動団体を支援する宿泊施設の取組みに参加する宿泊プラン】

#### 海の水質改善プロジェクトに寄付される宿泊プラン(米国ハワイ)

- ハワイ・オアフ島に位置するホテルでは、オアフ島最大の水路であるアラワイ運河の水質を改善する取り組み「ゲンキ・アラワイ・プロジェクト」に料金の一部が寄付される宿泊プランを実施。
- プラン料金から10ドルを、さらに同ホテルが10ドルを上乗せした合計20ドルがプロジェクトに寄付される。
- アラワイ運河は、長年に渡って泥や有機物、ゴミなどによる水質汚染が問題視されてきた。そこで、光合成細菌や発酵型の乳酸菌など、自然界に存在する善玉菌の集合体「EMゲンキボール」を運河に投下することで水質改善を試みる「ゲンキ・アラワイ・プロジェクト」が発足。EMゲンキボールには、ヘドロの分解や水の浄化、植物性プランクトンの増加促進、有害なバクテリアや悪臭を抑制するなどの効果があり、今後7年間かけて泳ぐことができ、釣りができるまでの水質に改善する計画。



#### 絵本2冊相当の金額を世界の子供たちのために寄付する宿泊プラン(東京都)

- 1泊につき200円が子どもの非識字と貧困のサイクルを壱世代で断ち切ることを目指して活動している「認定特定非営利活動法人ルーム・トゥ・リード・ジャパン」に寄付される宿泊プランを実施。
- 寄付金200円は、同法人を通じて世界の子供たちの識字率向上のために贈られる各現地語の絵本約2冊分に相当する。また、プランを利用したお客さまには、特典としてホテルオリジナルトートバックがプレゼントされる。

#### 児童養護施設の子供たちに自立資金を寄付する宿泊プラン (和歌山県)

- SDGs・地域貢献の取り組みとして、宿泊代金のうち200円が児童養護施設に寄付されるプランを実施。
- 寄付金は、「一般財団法人日本児童養護施設財団」を通じて、児童養護施設を退所し社会へ巣立つ子ども達が進学する際や、夢や目標に挑戦する際に必要な生活費など、様々な社会の壁を乗り越えるためのサポート費用として役立てられる。

### 【④障害のある人への理解や共感を促す宿泊プラン】

#### 障害のある作家のアートを体感できる、コンセプトルーム宿泊プラン(東京都)

- 知的障害のある作家の才能や描き出されたアートを“異彩”と定義し、福祉領域の拡張を見据えた多様な事業を展開する「株式会社ヘラルボニー」とコラボレーションしたコンセプトルームへの宿泊プランを実施。
- 知的障害のあるアーティストが描いた作品は、美術教育を受けていない人が独学で描くアートとして、「アール・ブリュット（生の芸術）」や「アウトサイダー・アート」と呼ばれる。同ホテルは、こうした“異彩を放つアート“を取り入れた客室での宿泊体験を通じて、「福祉」や「障害」という普段の生活で関わりを持ちづらい分野と一般的な生活者の間にある目に見えない境界線を無くし、お客さまに新たな価値を体感してもらう機会を提供している。
- 客室のいたる所にアートが施されており、宿泊中は老舗陶磁器メーカー「ニッコー株式会社」製のカップなど、ヘラルボニー社のアイテムを自由に利用することもできる。

## 【⑤障害のある人を対象とした宿泊プラン(宿泊施設独自の取組み)】

### 車椅子のまま入浴できる温泉宿泊プラン(長野県)

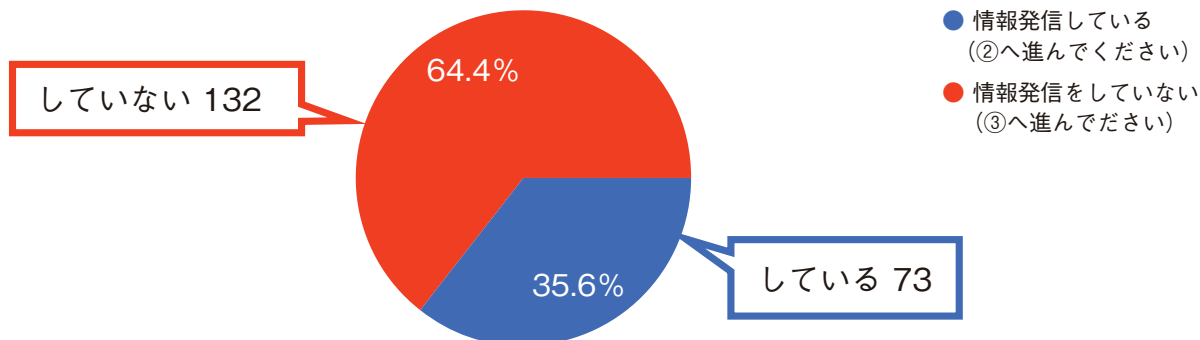
- 長野県の温泉旅館では、車椅子を利用しているゲスト向けに、車椅子のまま入浴できる「昇降式貸切温泉」の利用特典がついた「車椅子でも温泉快適プラン」を実施している。
- 同館では、SDGsの10番目の目標「人や国の不平等をなくそう」の観点から、露天風呂付きユニバーサルデザイン客室8部屋、車椅子のまま入浴できる昇降式貸切温泉(専用の車椅子をフラットになった湯船の床まで移動し、レバーを引くと床が下降して入浴できる仕組み)とオストメイト対応の多目的トイレを新設するリニューアル工事を行った。
- リニューアル後、車椅子利用客が増加した一方で、車椅子利用客の中には提供できる客室数と金額の関係から、露天風呂付きユニバーサルデザインルームではなく一般客室を利用する方も少なくないことが判明したことから、一般客室に宿泊するゲストにも快適に温泉を楽しんでもらえるよう、通常40分2,000円の昇降式貸切温泉を60分間無料で利用できる車椅子利用客向けの特別プラン「車椅子でも温泉快適プラン」を販売することとした。



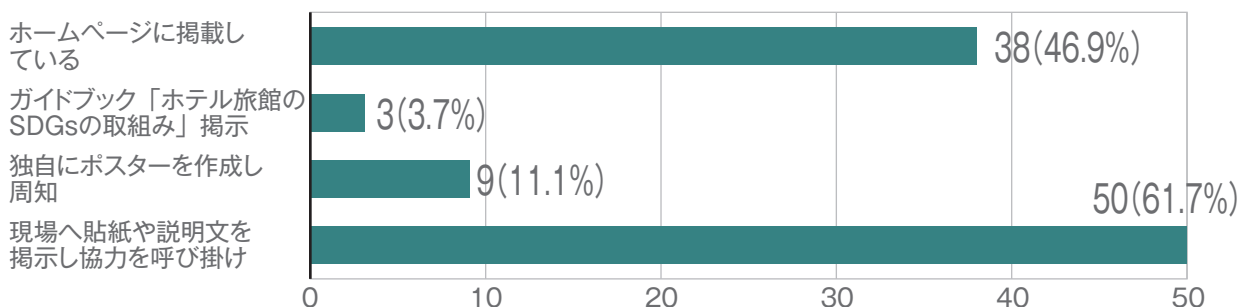
## 参考資料5 アンケート結果について

### 【お客様へのSDGs取組みの情報発信状況】

#### ①お客様に対して情報発信していますか(205件の回答)



#### ②どのような手段や方法で情報発信していますか(複数回答81件の回答)



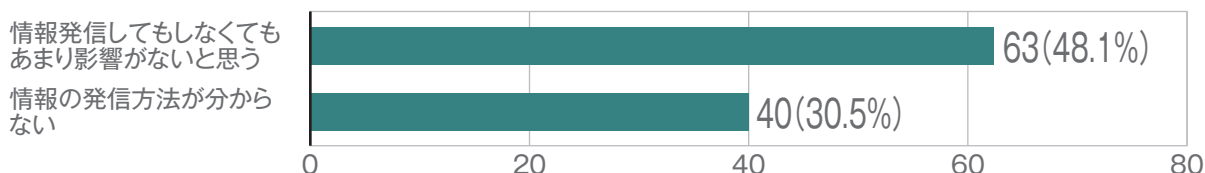
#### 【その他取組み】 SNSで発信。

グループで取組んでいる。

フロントのアメニティバイキングで示す。

SDGsに該当する宿泊プランを選択できるようにしている。

#### ③情報発信をしていない理由は何ですか(複数回答131件の回答)



#### 【その他の回答】 SDGsの取組みが進んでいないため

該当する取組みが分からないため。

対応する時間がないため。

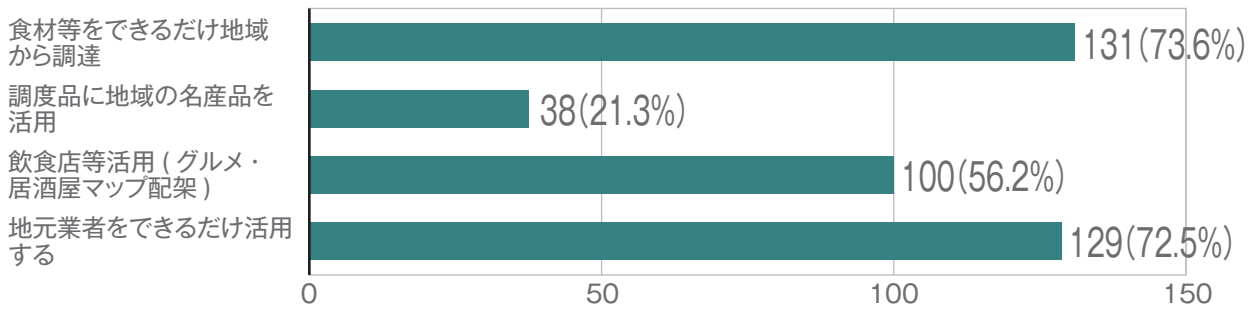
グループ企業で一括管理のため。

マンパワーが不足しているため。

情報発信の準備中であるため。

## 【地域と連携したSDGsへの取組み状況】

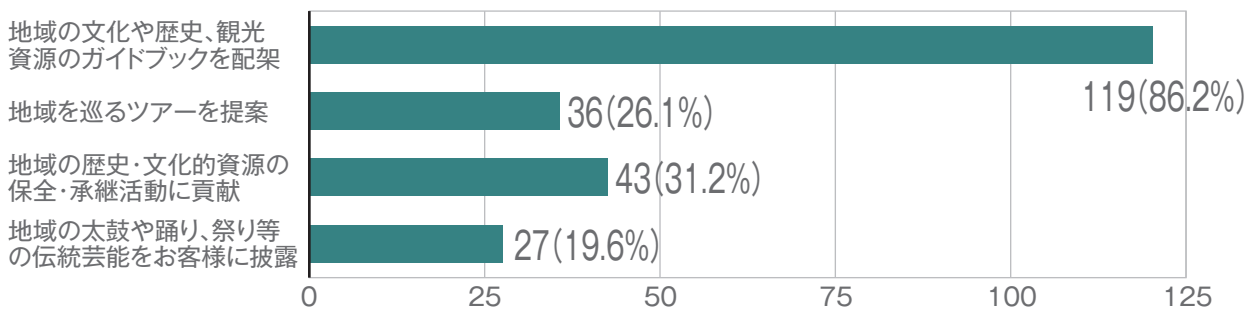
### ①地域の経済の活性化(複数回答178件の回答)



【その他取組み】 ホテル周辺飲食店の食事クーポン券付きプランを提供。  
地域にある店舗利用(クリーニング、スーパー、個別店)。  
地域の養魚場のアマゴを料理に使用。

【取組みの相手】 いで湯っこ市場。地元タクシー会社。地域のクリーニング店。  
個別商店。地域スーパー(地産品)。

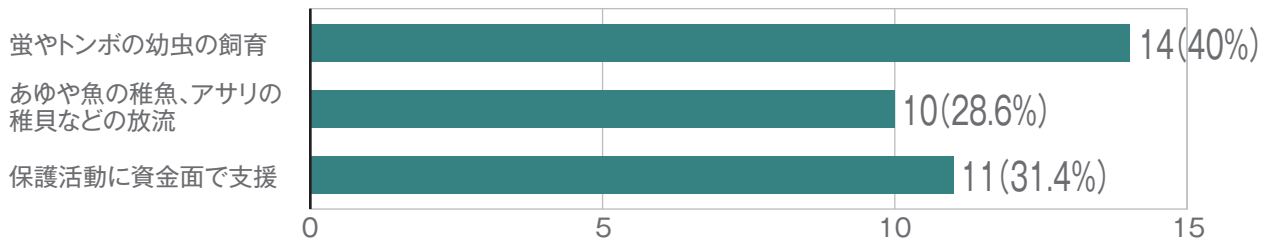
### ②地域の観光資源の活用と保全(複数回答138件の回答)



【その他取組み】 伝統工芸品を客室に取入れている。  
金山や温泉の歴史を夕食時に紹介している。

【取組みの相手】 観光協会、町内会、旅館組合、地域のボランティア

### ③地域の自然や動植物の保護活動(複数回答35件の回答)



【その他取組み】 アユの放流。

中田島砂丘の子亀放流。

保護犬支援(譲渡会開催、資金支援)。

駿河湾を守る会の支援。

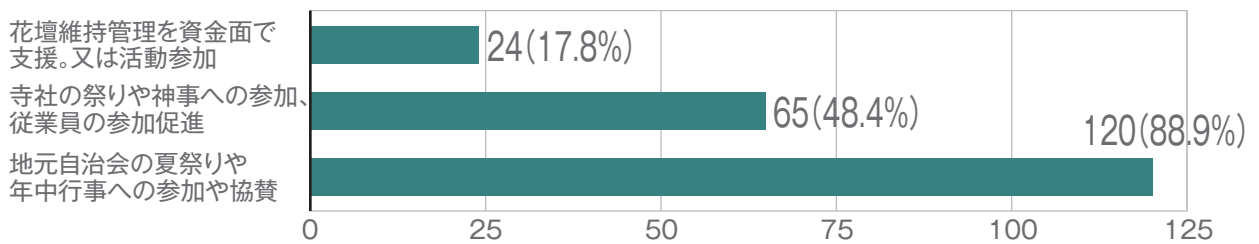
松原の保全活動及び広報。

盲導犬・保護犬施設へのタオルの寄贈

【取組みの相手】 保護犬支援団体

〇〇を守る会 ほか

### ④地域のコミュニティ活動等への支援(複数回答135件の回答)



【その他取組み】 地域の清掃活動やビーチクリーン。

地元の祭のポスターデザインや印刷を担う。

自治会や神社への寄付。

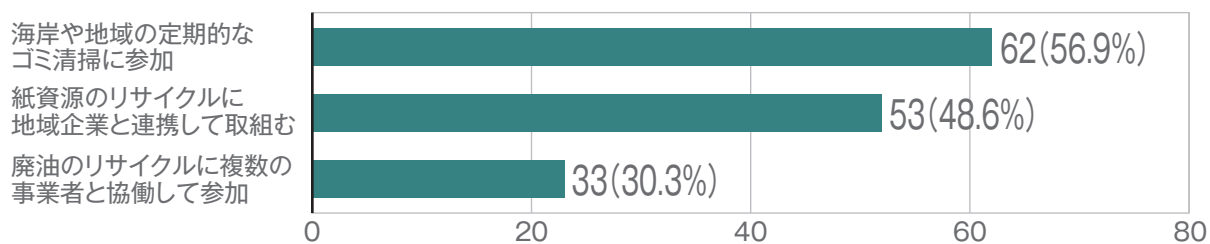
【取組みの相手】 町内会、緑の会、旅館組合、地域商店街、夜店実行委員会、

浜松まつり等地域祭実行委員会、市町、

地域おこし隊



### ⑤資源のリサイクルなどの環境活動(複数回答109件の回答)



【その他取組み】 ゴミの分別廃棄。

分別型ゴミ箱の設置。

小学校のリサイクル活動への協力。

地元小中学校のアルミ缶リサイクル活動へ参加。

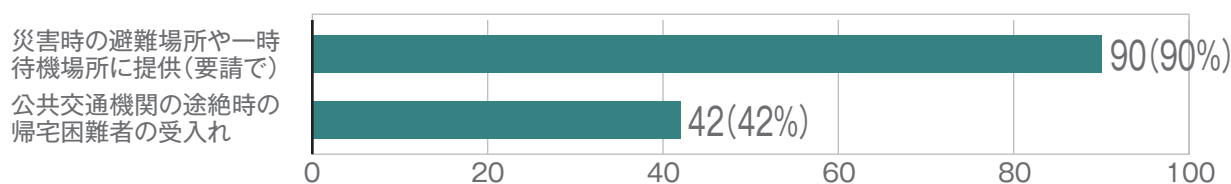
資源回収BOX投入

プロッキング(ジョギング+ごみ拾い)に参加

【取組みの相手】 町内会、旅館組合、観光協会、地域の小中学校。

山ス鈴木商店(浜松)、マルダイ、エネオスSS

### ⑥行政への協力(複数回答100件の回答)

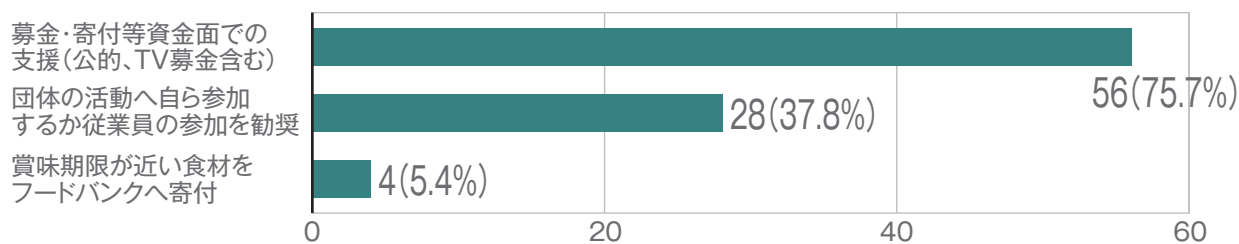


【その他取組み】 津波避難ビル

【取組みの相手】 市町(富士宮市、熱海市、伊東市、東伊豆町、沼津市、伊豆市、下田市、清水区、裾野市)。

温泉組合(河津)。 町内会

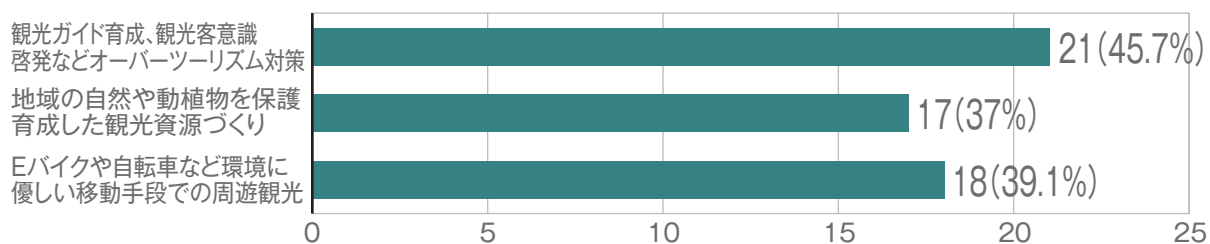
⑦福祉団体やボランティア団体の活動を支援(複数回答74件の回答)



【その他取組み】 支援学校等へクリスマスケーキをプレゼント。  
子ども食堂への支援。

【取組みの相手】 ライオンズクラブ。福祉協議会。市町。赤十字等共同募金会。  
NPO法人。盲導犬協会。あしなが育英会。  
世界の子供にワクチンを日本委員会(JCV)

⑧DMOや観光団体等の活動協力で地域課題の解決(複数回答46件の回答)



【その他取組み】 三保松原文化創造センター「みほしるべ」の活動支援。  
ボランティアガイドへの参加

【取組みの相手】 観光協会。町内会。旅館組合。下田あさぎまだらの会

## ⑨ ①～⑧以外の地域連携やパートナーシップの取組み

### 〈清掃活動〉

※宿泊施設・地域住民と遊歩道の整備・清掃活動

※近隣駅の早朝清掃活動

### 〈地域おこし〉

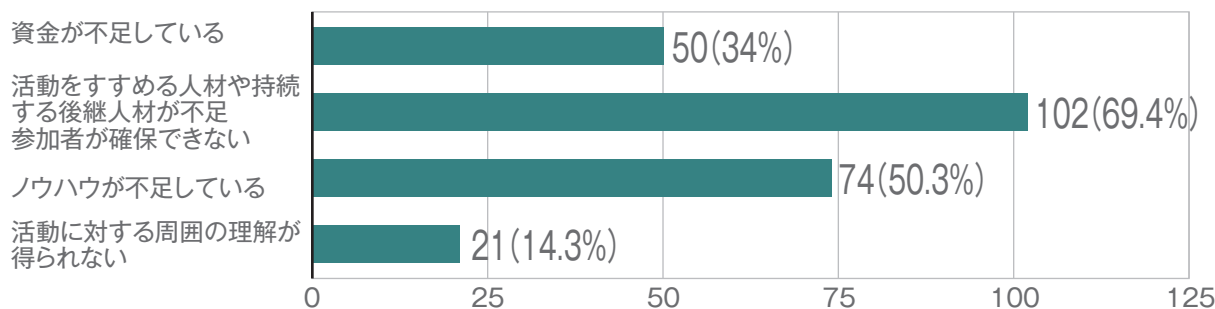
※浜松パワーフード学会に加入（家康の健康を支えた浜松地域の旬の食材を使った料理を提供する）

※地元の熱海市がレモン栽培国内発祥の地でもあり、季節のイベントとして「レモン祭」が実施され、それに物的支援・運搬支援などに協力

### 〈福祉施設の支援〉

※プルタブを集めて換金し、購入した車椅子を福祉施設に寄贈

## ⑩取組みを進める上での課題は何ですか（複数回答147件の回答）



【その他】費用対効果。個別に事情が異なり一概に言えない。現在検討中。

チェーンホテルであり、本社の指導のもと、進める。

## 【設問4】 貴ホテル旅館のSDGsへの取組の中でお薦めしたいもの

### 〈様々な分野で目標を掲げSDGsを推進〉

- 宿泊施設として動力源では省エネ、食材・什器備品・リネン用品など様々な分野で仕入・調達～販売・提供・消費～廃棄・再利用に至るカテゴリにて数値目標を掲げ実現化している。弊社HPにてサステナブル・ストーリーを掲示し対外的に広めるとともに、各施設にて展開しています。

### 〈プラスチック削減〉

- 竹歯ブラシの利用(品質が良い)
- プラスチック製(ヘアブラシ・歯ブラシ・ストロー他)を天然資材配合に変更
- リサイクルで廃棄量を削減(大浴場のヘアブラシ)

### 〈環境に配慮したアメニティ・備品の導入〉

- 客室アメニティに、再生プラスチック+バイオ添加剤+生分解促添加剤を成分とした製品(歯ブラシ・カミソリ・クシ・ヘアブラシ・シャワーキャップ)へ、切り替えを行っております。また、一部客室ではボトル式のバスアメニティを設置し、プラスチックを使用しているミニボトルの使用削減を図っております。
- アメニティ削減(プラ削減)
- アメニティバーによるゴミ削減(もうすでに行われてるホテルさんが多いと思いますが、無駄の削減とゴミ削減につながるかと思います。)

### 〈地域清掃〉

- 特に力を入れているのは定期的なビーチクリーンの開催と参加

### 〈消耗品節約〉

- トイレットペーパーの使い切りのお願い

### 〈地産地消の奨励〉

- 来館者(お客様)への地元店舗紹介(地産地消)

### 〈地域資源活用〉

- 温泉資源の明確化

### 〈食べ残しなど削減〉

- フードロスの削減
- 食材廃棄を少なくする

### 〈省エネ〉

- 温泉熱を利用した冷暖房設備の設置(温泉温度高温の場合のみ)

### 〈その他〉

- 熱海祭りの参加、社員に参加させると外から見た祭りとは違って凄く違うと言うから。社員旅行で今年は県内の運動場を借り、運動会を開いた。

## 【設問4-2】 SDGsに対するお考えをお聞かせください。

### 〈できることをやっていく〉

- 出来ることから少しずつ取り組んでゆきたい
- 色々な項目がありますが、気負って何かをしなければいけないとか、企業として何が出来るかを考えてもなかなか行動に移らない事が多く、日々何気なく行っている節電や周辺のゴミ拾いを継続していきながら、掲げられている項目で出来るものを探していければと思っています。
- 日々の業務の中で、SDGsの内容とすでにあてはまるもの、少し行動すれば無理なくあてはまるものについて、行動していきたいと思いますが、それ以上のSDGsの目標達成のために営業方法や生き方を変えていく（無理をしていく）ことは考えていません。
- 無理せず、出来ることから進めてゆきたい。
- 今後も活動の幅を広げて、地域への貢献度も深めて行きたい。
- SDGsについて以前から行っており、特別な意識していないのが実情です。
- よくわかってはいないが少し出来てると思います。
- 簡単なことからやっていければと。
- 大きな事はなかなか実行できませんが店内や自宅で出来ることからやっていこうと思っています

### 〈取組む上での課題〉

- 世界的に必要な取り組みであることは理解しているが、人員確保や資金面でも必要なことが多いため難しい面も多い。
- 取組を進めたい一方で経営資源としての余裕がなく進捗していない。
- 地域の自治会、行政への手助けはできるが、単体での活動は無理です。
- 全体的にコストが上昇している中で、SDGsへの取組は、コスト面で導入しづらい部分がある。

### 〈進めて行く意思〉

- 弊社は持続可能なSDGsに賛同し、事業を通じて社会の問題解決に取り組んでいます
- 無駄なロスをなくすこと自体には前向きに取り組むたいと考えております。



### 〈必要性や捉え方〉

- 今後、必要な取り組み ● 合理的で良いと思う。
- 先人からの知恵を明確にしたもの
- 企業と行政が一体となり地域の方を巻き込んでいける様な活動を計画しに繋げていきたい。
- 次世代の人の為に今自分が出来ることをやることは大事だと思う。
- 将来を考えることができる。
- 世の中の的にできることはやるべき
- 経済や消費の縮小こそが求められていると思います。

### 〈理解ができない〉

- 大まか過ぎで何に重点を置くのか今一つ理解できない。環境保護というなら環境保護という名のビジネスが成り立っているのにも理解出来ない
- 知識、認識不足
- まだ勉強不足であること

### 〈組合への要望〉

- 情報発信事例をたくさん紹介していただきたい。
- 今後、組合からのSDGsへの取り組み方、情報提供を期待いたします。積極的に活動に参加していきたいと存じます。
- SDGsについて、関係する目標と内容がよくわからないため、セミナー・講習会、くわしい資料をお願いしたい。特に年配者は必要かと思う。
- すぐにでも取組める具体例を記載したポスター等を発行して欲しい。

### 〈進め方：外に向けて〉

- 事例をたくさん作ってお客様やスタッフに認知させる必要がある。
- 参画・挑戦に関してのハードルが高く感じられているのだと思う。しかし、実際にはSDGsの項目を見渡すと当たり前実施していることも多数あります。ですが、それを知らない人が多すぎる。そのあたりの啓もう活動が必要だと感じています
- SDGsの取り組みは非常に良いことだと感じております。ただ利用されるお客様がこの取り組みに理解がないと、結果的に不満やクレーム等に繋がり良い効果が得られないこととなります。施設が個別で啓蒙活動するよりは、業界全体で一つのSDGsの取り組みを行った方が効果あると思います。例をあげるなら、スーパーやコンビニエンスストアで一斉に取り組みを始めた買い物袋が良い例だと思います。
- お客様のアメニティもバイオマスプラスチックを取り扱う商品がふえてきたので、積極的に導入しています。
- グループ全体で環境への取り組みを推進しています。（館内の節水や省電力化、プラスチック製品の削減など）

#### 〈進め方：内部に向けて〉

- フードロス、節電、節油を全従業員に心掛けさせ、気をつけている。
- 対外的にだけでなく、社内的にも「SDGs週間2023」と称し社内メールやLINE WOKSなどを通じてスタッフ全員が考えて行動するきっかけになるイベントを開催しております。今後もスタッフ一人一人がSDGsについて考え、意見を出しながら行動していくことでより良い世界、济みやすい世界が作られるので、SDGs週間のよう、社員も一緒に考えるきっかけを作っていきたいと思ひます。

#### 〈進め方：連携〉

- SDGsは、個々の小企業では、人的・資金的に難しいところが有ります。地域一帯、各種団体と協力していくのが良いと思ひます。

## 参考資料6 「旅館ホテル持続可能な経営推進事業」調査検討ワーキング

【活動期間】 令和5年6月～令和6年1月

【メンバーの一覧】

役割等	氏名	所属等	地域
座長	西野 勝明	県立大学経営情報学部名誉教授	
専門アドバイザー	吉松 道朗	サラヤエスビーエス(株)	
専門アドバイザー	府川 博明	当組合前専務理事	
旅館ホテル営業者	伊藤 晴美	伊東温泉大東館	伊 東
旅館ホテル営業者	伊庭 勝彦	下田東急ホテル	下 田
旅館ホテル営業者	渡邊 恭宏	ホテルニューセントラル	富 士
旅館ホテル営業者	入谷 真弘	ホテル盛松館	静 岡
旅館ホテル営業者	松永 亜弓	せせらぎの宿紅竹	静 岡
旅館ホテル営業者	石川 浩	I W A T Aステーションホテル	磐 田
事務局	小川 英雄	静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合	
事務局	杉田 志野	静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合	

【活動状況】

令和5年	種 別	内 容 等	備 考
7月3日	第1回検討会議	全体の進め方 SDGs取組み実態調査について(情報発信、地域連携)	
10月5日	第2回検討会議	アンケート調査結果 情報発信状況と視察先の検討について	
12月21日	先進事例視察	海のほてるいさば(戸田)視察	
令和6年 1月11日	先進事例視察	翠紅苑(寸又峡)視察	
1月24日	第5回検討会議	SDGs推進ガイドブックについて	

〈第1回会議風景〉



〈第2回会議風景〉





〈第3回会議風景〉



〈先進事例視察：海のほてるいさば(沼津市戸田)〉



戸田観光協会指定管理施設  
重要文化財「松城家住宅」

〈進事例視察：翠紅苑(川根本町)〉



## 静岡県

静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合

静岡県静岡市葵区紺屋町11-1 浮月ビル5F  
TEL:054-254-6388 FAX:054-254-6390

<http://www.shizuokayado.jp>

作成:令和6年3月 編集・デザイン:株式会社マーレプランニング